


Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.2 ユーザーズ ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: SCOM 向け Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) について	6
章 2: DSMPS のサポート マトリクス	7
DSMPS を使用するために必要なユーザー ロール.....	8
章 3: DSMPS のインストール	9
SCOM 向け Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) のインストール.....	9
複数の管理サーバーでの DSMPS のインストール	9
DSMPS のインストール後 SCOM コンソールにインポートされる管理機能.....	10
DSMPS のインストールに関する問題の修復.....	10
章 4: DSMPS のモニタリング機能を使用した SCOM コンソール上での PowerEdge サーバーの検出および管理	11
PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングの拡張可能エディションおよび詳細エディション.....	11
PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出と分類.....	11
SCOM エージェント管理を使用した PowerEdge サーバーの検出.....	12
SCOM コンソールでの Dell EMC PowerEdge サーバーのモニタリング.....	12
DSMPS の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の表示オプション.....	12
章 5: iSM-WMI を使用した SCOM コンソール上の PowerEdge サーバーの検出および管理	17
.....	17
iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングの拡張可能エディションおよび詳細エディション.....	17
iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出と分類.....	18
iSM-WMI を使用して PowerEdge サーバーを検出するための前提条件.....	18
iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーの検出.....	18
iSM-WMI を使用したオブジェクトの検出.....	19
iSM-WMI を使用した DSMPS の PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能.....	19
iSM-WMI を使用した DSMPS の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能のビュー オプション.....	19
章 6: DSMPS を使用した SCOM コンソールでの DRAC の検出と管理	22
DRAC の DSMPS モニタリング機能の概要.....	22
DRAC の検出と分類.....	22
DSMPS を使用した DRAC デバイスの検出と有効化.....	23
DSMPS を使用した DRAC のモニタリング.....	23
DSMPS の DRAC モニタリング機能の表示オプション.....	23
章 7: DSMPS モニタリング機能用の SCOM コンソールでサポートされているタスク	26
SCOM での DSMPS モニタリング機能ベース タスクの実行.....	26
DSMPS モニタリング機能を使用して Dell EMC デバイスで実行されるタスク.....	26
ノードへの接続の確認.....	27

PowerEdge サーバーの保証情報の表示.....	27
SCOM コンソールを使用したモノリス型サーバーでの OMSA の起動.....	27
SCOM コンソールを使用した iDRAC の起動.....	27
SCOM コンソールを使用したモノリス型サーバーでのリモート デスクトップの起動.....	28
リモート iDRAC のハード リセット操作の実行.....	28
Embedded Server Management (ESM) ログのクリア.....	28
電源管理関連のタスク.....	28
章 8: DSMPS レポートの生成.....	30
SCOM コンソールでの PowerEdge サーバーに関するレポートの表示.....	30
SCOM コンソールでの DSMPS レポートの生成.....	30
章 9: DSMPS のアップグレード.....	32
DSMPS を最新バージョンの OMIMSSC にアップグレード.....	32
DSMPS の以前のバージョンからのアップグレード.....	32
章 10: DSMPS のアンインストール.....	33
Windows コントロール パネルを使用した DSMPS のアンインストール.....	33
DSMPS インストーラー EXE ファイルを使用した DSMPS のアンインストール.....	33
章 11: 参照トピック.....	34
DSMPS でサポートされているモニタリング機能.....	34
DSMPS での OMSA を使用した Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリ ング機能.....	34
iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバーとラック型ワークステーションのモニタリング機能.....	37
DSMPS の DRAC モニタリング機能.....	39
Feature Management Dashboard を使用した DSMPS のモニタリング機能の設定.....	40
検出されたデバイスの重要度レベル.....	43
OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングで サポートされている検出機能.....	44
DRAC のモニタリング用に DSMPS でサポートされている検出機能.....	44
DSMPS のさまざまなモニタリング機能によってモニタリングされるハードウェア コンポーネント.....	45
DSMPS のモニタリング機能で提供されるビュー オプション.....	48
DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示されるアラート ビュー.....	48
DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって表示されるダイアグラム ビュー.....	49
DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー.....	52
iSM-WMI を使用した DSMPS の主な PowerEdge サーバー モニタリング機能.....	53
iDRAC9 PowerEdge サーバーのシステム設定ロックダウン モード.....	53
iDRAC9 PowerEdge サーバーの iDRAC グループ マネージャー.....	53
iDRAC および iSM から検出された PowerEdge サーバーの容量計画.....	53
iDRAC および iSM から検出された PowerEdge サーバーのポート接続情報.....	54
DSMPS ユニットのモニター.....	54
OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびワークステーション向けの DSMPS モニタリング機 能の拡張可能エディション ユニット モニター.....	54
OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびワークステーション用の DSMPS のモニタリング機 能の詳細エディションのユニット モニター.....	55
DRAC 用 DSMPS のモニタリング機能でのユニット モニター.....	56
DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって使用されるイベント ルール.....	57
章 12: トラブルシューティング.....	59

Feature Management Dashboard にデータが表示されない.....	59
Feature Management Dashboard で実行されたタスクの失敗.....	59
機能管理アラート.....	60
管理サーバー (MS) が機能していないため、関連付けられているタスクを完了できない (Feature Management Host Server の正常性サービスが機能していない)	60
章 13: 追加リソース.....	61
章 14: Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス.....	62
章 15: デル・テクノロジーズへのお問い合わせ.....	63
付録 A: 用語集.....	64
付録 B: 追加トピック.....	65
識別 LED を使用したデバイスおよびデバイス電源ステータスの識別.....	65
Microsoft SCOM 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からの移行.....	66
トラップとトラップベースのユニット モニターをモニタリングするための SCOM の設定.....	66
SNMP モニタリングのための Run As アカウントの作成.....	67
複数の Run As アカウントの関連付け.....	67
Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイス テンプレートのインストール.....	68
Run As アカウントの関連付けタスク - Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能.....	68

SCOM 向け Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) について

Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) は、OMSA または iSM-WMI を使用して PowerEdge サーバー、ラック型ワークステーション、および iDRAC のエージェント ベースの検出とモニタリングを可能にする SCOM 向け管理パック スイートです。管理パックには、ネットワーク内のデバイス ステータスをモニタリングおよび分析するために使用できる Dell EMC 固有のビューが用意されています。

SCOM 向け DSMPS は、自己解凍型の実行可能ファイルです - *Dell EMC Server Management Pack Suite_<Version>_xx.exe* - ここで、xx は Server Management Pack Suite バージョンのリリース番号です。実行可能ファイルと最新のマニュアルは、デル・テクノロジーのサポート サイトからダウンロードできます。

注意: このユーザーズ ガイドに記載されているタスクを実行する必要があるのは、サポートされている SCOM コンソール バージョンの作業経験があり、Microsoft Windows オペレーティング システムを使用している場合に限られます。それ以外の場合は、データが失われたり破損したりする可能性があります。

SCOM 向け DSMPS でサポートされるモニタリング機能

SCOM 向け DSMPS を使用すると、次の Dell EMC デバイスを検出して分類することができます。

- Dell EMC PowerEdge サーバー - Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能 (OMSA エージェント ベースおよび WMI を使用する iSM) を使用します。
 - ① **メモ:** Dell EMC サーバーとラック型ワークステーションのモニタリング機能は、Windows Server オペレーティング システムを搭載した PowerEdge サーバーのモニタリングをサポートします。
 - ① **メモ:** iSM-WMI 機能を使用した検出は、管理パックを使用した SCOM ネイティブ検出と同じです。
- Dell Remote Access Controller
- サポートされる Dell Precision ラック

DSMPS および SCOM 向け OMIMSSC アプライアンスによって提供されるモニタリング機能の比較

- **DSMPS によって提供される検出およびモニタリング機能**
 - ソフトウェア ベースのエージェント (OMSA) または iSM を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出とモニタリングを行います (iSM ベースの検出の場合、iDRAC のライセンスはノードごとの iDRAC コンソールにインポートされます)。
- **SCOM 向け OMIMSSC によって提供される検出およびモニタリング機能**
 - iDRAC のエージェント フリーの検出を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーション、シャーシ、ネットワーク スイッチの検出とモニタリングを行います。SCOM 向け OMIMSSC アプライアンスの導入と使用の詳細については、サポート サイトの『System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration with Microsoft System Center ユーザーズ ガイド』を参照してください。

DSMPS のサポート マトリクス

Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) のインストールと設定を行う前に、次のソフトウェア要件とハードウェア要件を満たしていることを確認します。

表 1. DSMPS のサポート マトリクス

対応ソフトウェアおよびハードウェア	要件とバージョン	
Microsoft System Center - Operations Manager (SCOM)	<p>次の SCOM ビルド番号のいずれかが、管理サーバーにすでにインストールされている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> SCOM 1807 SCOM 1801 SCOM 2012 R2 SCOM 2016 SCOM 2019 <p>メモ: Windows Server 2016 オペレーティングシステムのナノ サーバーバージョンを実行しているシステムでは、マイクロソフトのサポート技術情報記事 (KB3190029) に記載されている <i>Microsoft System Center 2016 - Operations Manager 向けアップデート ロールアップ1</i> エージェント パッケージを適用します。詳細については、https://support.microsoft.com/en-us/help/3190029/update-rollup-1 を参照してください。マイクロソフトのガイドラインに従って、以前のバージョンから SCOM の最新バージョンにアップグレードすることができます。サポートされているアップグレード シナリオの詳細については、Microsoft System Center のマニュアルを参照してください。</p>	
SCOM コンソールを使用して管理サーバーに DSMPS をインストールするための Windows 要件	<ul style="list-style-type: none"> 次の Windows ファイアウォールルールを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> SCOM SNMP Response SCOM SNMP Trap Listener SCOM Ping Response Windows PowerShell 3.0 以降 (システムで Windows Server 2012 R2 オペレーティングシステムを実行している場合)。 	
DSMPS の機能		
管理サーバー (MS) の要件	-	
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> SCOM 2019 については、https://www.docs.microsoft.com/en-us/system-center/scom/?view=sc-om-2019 を参照してください。 SCOM 2016 については、https://www.docs.microsoft.com/en-us/system-center/scom/?view=sc-om-2016 を参照してください。 SCOM 2012 R2 については、https://docs.microsoft.com/en-us/previous-versions/system-center/system-center-2012-R2/hh546785(v=sc.12) を参照してください。 	
管理下システム要件	-	
Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング	Dell EMC OpenManage Server Administrator (OMSA)	バージョン 9.4 および 9.3
iDRAC サービス モジュール (iSM) のモニタリング機能	iDRAC9 ベースおよび第 13 世代の PowerEdge サーバーの iSM	3.5.1 および 3.4.0

表 1. DSMPS のサポート マトリクス

対応ソフトウェアおよびハードウェア	要件とバージョン	
iDRAC モニタリング機能	Lifecycle Controller 搭載の iDRAC8 モジュール型およびモノリス型	ファームウェア バージョン 2.xx.xx.xx
	iDRAC7 モジュール型およびモノリス型	ファームウェア バージョン 2.xx.xx.xx および 1.6x.6x
	iDRAC6 モノリス型	ファームウェア バージョン 2.92 および 2.85
	iDRAC6 モジュール型	ファームウェア バージョン 3.80 および 3.65

トピック：

- DSMPS を使用するために必要なユーザー ロール

DSMPS を使用するために必要なユーザー ロール

ユーザーは、以下のメンバーである必要があります。

- ドメインユーザーグループ
- 管理サーバーのローカル管理者グループ
- SCOM 管理者グループ

DSMPS のインストール

[前提条件]: SCOM 用の Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) のインストールを開始する前に、すべてのソフトウェアおよびハードウェアの要件とユーザー権限が設定されており、使用可能であることを確認します。DSMPS のサポート マトリックスを参照してください。

トピック :


- SCOM 向け Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) のインストール
- 複数の管理サーバーでの DSMPS のインストール
- DSMPS のインストール後 SCOM コンソールにインポートされる管理機能
- DSMPS のインストールに関する問題の修復

SCOM 向け Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) のインストール

手順


1. デル・テクノロジーズのサポート サイトから、*Dell EMC Server Management Pack_<version>_Axx.exe* をダウンロードします。ここで、xx は Dell EMC Server Management Pack のリリース番号です。
2. 自己解凍ファイルの内容を抽出するには、EXE ファイルを実行します。
3. 解凍した場所から、*Dell EMC Server Management Pack.exe* ファイルを起動します。
[Dell EMC Server Management Pack Suite] のようこそ画面が表示されます。
4. [次へ] をクリックします。
ライセンス契約が表示されます。
5. インストールを続行するには、ライセンス条項を読み、同意します。
6. [次へ] をクリックします。
7. インストール フォルダーのデフォルトの場所を変更する場合は、[変更] > [次へ] をクリックします。
8. [インストール] をクリックします。
9. [Install Shield ウィザードを完了しました] 画面が表示されたら、[終了] をクリックします。
デフォルトでは、管理パックは C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.2 にインストールされています。

タスクの結果

-  **メモ:** インストール情報を含むログ ファイルは、DSMPS のインストール後に生成されます。ログ ファイルは、DSMPS の EXE ファイルを抽出したフォルダーにあります。

複数の管理サーバーでの DSMPS のインストール

手順

1. 任意の管理サーバーで、[Dell EMC Feature Management Dashboard] または [SCOM 管理パックのインポート] ウィザードを使用して、管理パックをインポートします。SCOM は、管理パックをすべての管理サーバーに自動的に配布します。
2. トラップを受信するには、Dell EMC デバイスの検出に使用する管理サーバーを、Dell EMC デバイスのトラップの宛先リストに追加します。
 **メモ:** トラップの宛先は、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能で検出およびモニタリングされる Dell EMC デバイス用に自動的に設定されます。ホスト OS からの iDRAC アクセス機能で

検出されたデバイスからの SNMP アラートを受信できるようにするには、管理下ノードで SNMP サービスをインストールし、管理サーバーの IP アドレスを SNMP サービスのトラップの宛先として設定する必要があります。

DSMPS のインストール後 SCOM コンソールにインポートされる管理機能

DSMPS をインストールした後、次のモニタリング機能が SCOM コンソールに自動的にインポートされます。

- Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能：
 - OMSA エージェントベースの使用。
 - すべての前提条件が満たされている場合にのみ、iSM-WMI の使用。
 - Dell EMC Feature Management Pack - Feature Management Dashboard は、SCOM コンソールの [モニタリング] > [Dell EMC] に表示されます。
- ⓘ** **メモ:** DSMPS の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能では、PowerEdge サーバーのモニタリングに使用するすべての管理サーバーでインストーラーを実行する必要があります。

DSMPS のインストールに関する問題の修復

このタスクについて

DSMPS をインストールした後に、インストールに関する問題が発生し、DSMPS アプリケーションを実行できない場合は、DSMPS のインストール ファイルにある [修復] 機能を使用して、インストール プロセス中に発生した可能性のある問題を解決してください。

手順

1. 抽出した場所から、Dell_EMC_Server_Management_Pack.exe ファイルを実行します。
Dell EMC Server Management Pack の [ようこそ] 画面が表示されます。
2. [次へ] をクリックします。
[プログラムメンテナンス] 画面が表示されます。
3. [修復] を選択してから、[次へ] をクリックします。
[プログラム修復の準備完了] 画面が表示されます。
4. [インストール] をクリックします。
ステータス バーは、インストール状態を示します。インストールが完了すると、[インストール完了] 画面が表示されます。
5. [終了] をクリックします。

例

ⓘ **メモ:** [修復] オプションは、コントロール パネルの [プログラムの追加と削除] からは使用できません。

DSMPS のモニタリング機能を使用した SCOM コンソール上での PowerEdge サーバーの検出および管理

トピック：

- PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングの拡張可能エディションおよび詳細エディション
- PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出と分類
- SCOM エージェント管理を使用した PowerEdge サーバーの検出
- SCOM コンソールでの Dell EMC PowerEdge サーバーのモニタリング

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングの拡張可能エディションおよび詳細エディション

次の表は、拡張可能エディション機能および詳細エディション機能を使用することができる環境を示しています。

表 2. DSMPS モニタリング機能の拡張可能エディションおよび詳細エディション

特長	拡張可能エディション	詳細エディション
Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	<ul style="list-style-type: none"> • コンポーネントグループのインベントリおよびモニタリング。また、iDRAC の可用性も表示されます。 • レポート - OpenManage Windows イベント ログ レポートのみを使用できます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 個々のコンポーネントの詳細インベントリおよび正常性モニタリングを行います。 • メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、センサー、ストレージコントローラ、ディスク、および仮想ディスクのメトリックスを表示します。また、BIOS 情報も表示します。 • レポート - BIOS 設定、ファームウェアとドライババージョン、および RAID 設定レポートの可用性。

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出と分類

DSMPS を使用して、Dell EMC PowerEdge サーバー(モノリス型、モジュラー型、およびスレッド)とサポートされている Dell Precision ラックを検出して分類することができます。次の表は、DSMPS モニタリング機能でサポートされているハードウェア検出とグループ化のリストです。

表 3. DSMPS を使用した Dell EMC ハードウェア検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC PowerEdge サーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Dell EMC モノリス型サーバー • Dell EMC モジュラー型サーバー • Dell EMC Sled サーバ 	<ul style="list-style-type: none"> • PowerEdge サーバー • PowerVault サーバ

表 3. DSMPS を使用した Dell EMC ハードウェア検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC ラック型ワークステーション	Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラム	Dell EMC Precision ラック

SCOM エージェント管理を使用した PowerEdge サーバーの検出

このタスクについて

メモ: SCOM コンソールの [管理] セクションにある [エージェント管理対象] ビューで PowerEdge サーバーを検出します。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[管理] を選択します。
2. 左ペインで、[検出ウィザード] をクリックします。
3. 作業中のペインで、[Windows コンピューター] を選択し、[コンピューターとデバイス管理ウィザード] により表示されるタスクを実行します。

詳細については、[Microsoft SCOM のマニュアル](#)を参照してください。

メモ: 分散型の環境では、デバイスの検出が正常に行われなかった場合があります。エラーメッセージに表示されているすべての条件が検証されていることを確認してから、デバイスを検出します。

タスクの結果

メモ: インストーラーは、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーション モニタリング管理パックを SCOM コンソールに自動的にインポートします。インストーラーが管理パックのインストールに失敗した場合は、SCOM の [管理パックのインポート] ウィザード、または [Dell EMC Feature Management Dashboard] を使用して管理パックをインポートしてください。

メモ: Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストールされていない、または非対応の OMSA バージョンを実行している Dell EMC PowerEdge サーバを、Dell 管理対象外デバイスとしてグループ化します。

SCOM コンソールでの Dell EMC PowerEdge サーバーのモニタリング

SCOM コンソールの [モニタリング] ペインを使用して、検出された Dell EMC PowerEdge サーバーに関する正常性情報をすべて提供するビューを選択します。[重大度レベルのインジケータ](#) は、ネットワーク上の Dell EMC PowerEdge サーバの正常性を示すのに役立ちます。

これには、一定間隔およびイベント発生時の両方におけるモジュラー型サーバー、およびサポートされる Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性のモニタリングが含まれます。

DSMPS の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の表示オプション

DSMPS には、SCOM コンソールで [モニタリング] > [Dell EMC] を選択して、サーバーおよびラック型ワークステーションをモニタリングするための次のビュータイプが用意されています。

- PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリング機能のアラートビュー、p. 13
- PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーション向け DSMPS モニタリング機能のダイアグラムビュー、p. 13
- PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリング機能のパフォーマンスと電源モニタリングビュー、p. 13
- PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーション向け DSMPS モニタリング機能の状態ビュー、p. 15

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリング機能のアラート ビュー

アラート ビューを使用して、OpenManage Server Administrator (OMSA) から受け取った、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのハードウェアおよびストレージ イベントを管理することができます。Broadcom およびインテル ネットワーク インターフェイス カード (NIC) から受け取ったイベントのアラートのリンクアップおよびリンクダウンが表示されます。

PowerEdge サーバーおよびワークステーションの DSMPS モニタリング機能で表示されるアラート ビューを表示するには、次の手順を実行します。

1. SCOM コンソールで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC アラート ビュー] を展開します。PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリング機能で表示されるアラート ビューは、次のとおりです。
 - [Dell EMC ネットワーク インターフェイス アラート ビュー] - 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウン アラート。
 - [Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラートビュー] — Dell サーバおよびラック型ワークステーションからの OMSA アラート。
 - [Dell EMC ラック型ワークステーションアラートビュー]
 - [Dell EMC ネットワーク インターフェイス アラート] - 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウン アラート。
 - [Dell EMC ラック型ワークステーションアラート] — ラック型ワークステーションからの OMSA アラート。

DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示されるアラート ビュー、p. 48 を参照してください。

3. 必要なアラート ビューを選択します。右ペインに、アラートの重要度、解決状態、ユーザーに割り当てられたアラートなど何らかの条件を満たすアラートが表示されます。
4. [アラート詳細] セクションで詳細を表示するアラートを選択します。

ⓘ メモ: デフォルトでは、情報アラートは無効にされています。情報アラートを有効にするには、[Dell EMC Feature Management Dashboard] 上で、サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の [情報アラートをオンに設定] タスクを実行します。

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーション向け DSMPS モニタリング機能のダイアグラム ビュー

このタスクについて

Dell EMC ダイアグラム ビューには、ネットワーク上のすべての Dell EMC PowerEdge サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC ダイアグラム ビュー] を展開します。
3. [Dell EMC ダイアグラム ビュー] フォルダーに移動して、使用可能なダイアグラム ビューを確認します。DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって表示されるダイアグラム ビュー、p. 49 を参照してください。
4. 必要な [Dell EMC ダイアグラム ビュー] を選択して、右ペインで選択した Dell EMC サーバーまたはラック型ワークステーションの階層的な図を表示します。
5. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、[詳細ビュー] セクションに詳細を表示します。

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリング機能のパフォーマンスと電源モニタリング ビュー

このタスクについて

Dell EMC パフォーマンスと電源モニタリングを SCOM コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM の左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [モニタリング] ペインで、[Dell EMC] > [Dell EMC パフォーマンスおよび電源モニタリング ビュー] を展開します。

次のパフォーマンスおよび電源モニタリングビューを使用できます。

- [環境温度 (セ氏)]
- [アンペア数 (アンペア)]
- [Dell EMC パフォーマンスビュー]
- [Dell EMC パフォーマンスビュー (iSM)]
- [Dell EMC サーバパフォーマンスビュー]
- [ディスクパフォーマンス - iSM (%)]
- [エネルギー消費量 (kWh)]
- [ピークアンペア数 (アンペア)]
- [ピーク電力 (ワット)]
- [電力消費量 (BTU / 時)]
- [電力消費量 (ワット)]

i **メモ:** 電力モニタリングは、特定の属性の電力モニタリング機能を備えた Dell EMC PowerEdge サーバーにのみ適用されます。この機能は、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の詳細エディションが存在する場合にのみ有効になります。

i **メモ:** ディスクパフォーマンスビュー - iSM (%) は、デフォルトでは無効になっており、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションモニタリング機能の詳細エディションがインストールおよびインポートされた場合にのみ表示されません。

3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。

収集されるデータは、システムごとに図形式で表示されます。

次の手順

ユニットモニターは、パフォーマンスカウンターを2サイクル連続して監視し、しきい値を超えているかどうかを確認します。しきい値を超えると、Dell EMC PowerEdge サーバの状態が変化し、アラートが生成されます。このユニットモニターはデフォルトで無効になっています。SCOM コンソールの [オーサリング] ペインのしきい値を上書き (有効化) できます。ユニットモニターは、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションモニタリング機能の [Dell Windows Server] オブジェクトで使用できます。ユニットモニターのしきい値を有効にするには、[パフォーマンスおよび電源のモニタリングユニットモニターの有効化](#)、p.14 を参照してください。

PowerEdge サーバーのパフォーマンス収集ルールを有効にする方法、およびパフォーマンス情報の収集に関する詳細については、[SCOM コンソールで設定された PowerEdge サーバーパフォーマンスコレクションルールの有効化](#)、p.15 を参照してください。

パフォーマンスおよび電源のモニタリングユニットモニターの有効化

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[オーサリング] を選択します。
2. [管理パックオブジェクト] > [モニタリング] を展開します。
3. [検索対象] フィールドで、「パフォーマンス」を検索します。
4. 有効にしたいユニットモニターを右クリックします。
5. [上書き] > [モニターの上書き] の順に選択し、要件に応じてオプションを選択します。

たとえば、クラス : Dell Windows Server のすべてのオブジェクトに対するユニットモニターを上書きするには、[クラスの全オブジェクト : Dell Windows Server] を選択します。

[上書きプロパティ] 画面が表示されます。

6. [有効] を選択し、上書き値を True に設定します。
7. [管理パック] セクションで、ドロップダウンリストから管理パックを選択します。
管理パックを作成するには、[新規] をクリックし、プロンプトで表示される複数のタスクを完了します。管理パックの作成に関する詳細については、Microsoft SCOM のマニュアルを参照してください。
8. [適用] をクリックします。

SCOM コンソールで設定された PowerEdge サーバー パフォーマンス コレクション ルールの有効化

このタスクについて

デフォルトでは、サーバー パフォーマンス コレクション ルールは無効になっています。有効にするには、次の手順に従います。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[オーサリング] を選択します。
2. [ルール] を選択し、[検索対象] フィールドで、「エンリッチ」を検索します。
3. 有効にするルールを右クリックし、[上書き] > [モニターの上書き] > [クラスの全オブジェクト] の順に選択します。
たとえば、すべての Dell EMC システムのネットワーク インターフェイスに関するデータを収集するには、次のルールを右クリックします。
 - 送信されたパケットの総数
 - 受信されたバイト数
 - 受信されたパケット総数
 - 送信されたバイト数
4. [有効] を選択し、上書き値 を True に設定します。
5. [管理パック] セクションで、ドロップダウン リストから管理パックを選択します。
管理パックを作成するには、[新規] をクリックします。
6. [適用] をクリックします。

タスクの結果

SCOM コンソールで、[モニタリング] > [Dell EMC] > [Dell EMC パフォーマンスおよび電源モニタリング ビュー] を選択して、Dell EMC PowerEdge サーバーから収集されたパフォーマンス情報を表示します。

パフォーマンス コレクション ルールは、以下のパラメーターについての情報を収集します。

- ディスクパフォーマンス (%)
- 環境温度 (セ氏)
- アンペア数 (アンペア)
- エネルギー消費量 (kWh)
- ピークアンペア数 (アンペア)
- ピーク電力 (ワット)
- 物理ネットワークインタフェース
- 電力消費量 (BTU/時)
- 電力消費量 (ワット)
- チェミングされたネットワークインタフェース

i **メモ:** サーバーおよびラック型ワークステーション モニタリング機能の詳細エディションをインポートすると、無効のパフォーマンス (ネットワーク パフォーマンスを除く) とライセンス不要のディスク パフォーマンス (%) の収集ルールがデフォルトで有効になります。

i **メモ:** [ディスク パフォーマンス (%)] - このビューには、PowerEdge サーバーの SSD の [残存する定格書き込み耐久性] が表示されます。データを表示するには、SSD オブジェクトを検索します。

i **メモ:** ネットワーク統計は、デフォルトでは無効になっていますが、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の詳細エディションでのみ定義されています。

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーション向け DSMPS モニタリング機能の状態ビュー

このタスクについて

状態ビューを使用して、DSMPS のさまざまなモニタリング機能でモニターされる Dell EMC デバイスの正常性を表示することができます。デバイスの状態を表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC 状態ビュー] を展開します。
モニタリング機能に基づいて、さまざまな状態ビューがリストされます。[DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー](#)、p. 52 を参照してください。
3. コンポーネントに関するデータを表示するには、コンポーネントを選択します。
[詳細ビュー] セクションに情報が表示されます。

タスクの結果

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。[検出されたデバイスの重要度レベル](#)、p. 43 で、DSMPS が対応する重大度レベルで使用するさまざまな状態コンポーネントについて説明しています。

iSM-WMI を使用した SCOM コンソール上の PowerEdge サーバーの検出および管理

トピック：

-
- [iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングの拡張可能エディションおよび詳細エディション](#)
- [iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出と分類](#)
- [iSM-WMI を使用して PowerEdge サーバーを検出するための前提条件](#)
- [iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーの検出](#)
- [iSM-WMI を使用した DSMPS の PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能](#)

このタスクについて

iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能は、次のデバイスの検出およびモニタリングの方法に基づいて、詳細または拡張可能インベントリを提供します。

- YX2X、YX3X、および iDRAC 9 ベースの PowerEdge サーバー
- PowerVault サーバ
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバー
- Dell OEM Ready サーバー
- PowerEdge Storage Space Direct Ready ノード

これらのデバイスのインベントリとモニタリングは、iSM-WMI を介して管理下 Dell EMC サーバーまたはラック型ワークステーションにインストールされた iDRAC サービス モジュール (iSM) を介して行うことができます。iSM でサポートされているプラットフォームのリストについては、デル・テクノロジーズのサポート サイトで『iDRAC サービス モジュール インストール ガイド』を参照してください。

iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングの拡張可能エディションおよび詳細エディション

このタスクについて

DSMPS の iSM-WMI モニタリング機能を使用して検出されたサーバーおよびラック型ワークステーションは、SCOM コンソールで「サーバー (iSM-WMI)」として分類されます。

- 拡張可能エディション
 - 個々のコンポーネント レベルまでのインベントリの生成。
 - サーバー、ラック型ワークステーション、コンポーネントグループレベルでの正常性モニタリング。
- 詳細エディション
 - 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性モニタリング。
 - 電源、温度のメトリック、NIC、プロセッサ、メモリー、Compute Usage per Second (CUPS)、PCIe SSD 摩耗率、IO パフォーマンスメトリックの表示。

iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの検出と分類

このタスクについて

次の表は、iSM-WMI を使用した DSMPS の Dell EMC サーバーおよびラックのモニター機能によるハードウェア検出とグループ化に関する情報を示しています。

表 4. iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC PowerEdge サーバ	<ul style="list-style-type: none">● Dell EMC モノリス型サーバー● Dell EMC モジュール型サーバー● Dell EMC Sled グループ	<ul style="list-style-type: none">● Dell PowerEdge システム● Dell PowerVault システム
Dell EMC ラック型ワークステーション	Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラム	Dell Precision ラック

iSM-WMI を使用して PowerEdge サーバーを検出するための前提条件

- iSM の必要なバージョンが管理下ノードにインストールされている。[DSMPS のサポート マトリクス](#)、p.7 を参照してください。
メモ: Microsoft Nano サーバーを実行しているシステムで iSM-WMI 機能を使用してデバイスをモニタリングしている場合は、[デル・テクノロジーのサポート サイトの『iDRAC サービス モジュール インストール ガイド』の「Nano オペレーティング システムでの iDRAC サービス モジュールのインストール」](#)セクションを参照してください。
- Windows Management Instrumentation (WMI) 機能がホストで有効に設定されている。詳細については、[デル・テクノロジーのサポート サイトの『Integrated Dell Remote Access Controller 7/8/9 with Lifecycle Controller ユーザーズ ガイド』の「Windows Management Instrumentation プロバイダー」](#)セクションを参照してください。
- [Dell EMC Feature Management Dashboard] で、[エージェント プロキシの有効化] タスクが、iSM-WMI を使用して Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能に対して実行されます。

iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーの検出

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[管理] を選択します。
2. 左ペインで、[検出ウィザード] を選択します。
3. 作業中のペインで、[Windows コンピューター] を選択し、[コンピューターとデバイス管理ウィザード] により表示されるタスクを実行します。詳細については、[Microsoft SCOM のマニュアル](#)を参照してください。

メモ: インストーラーは、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーション モニタリング (ライセンス対象) 管理パックを SCOM コンソールに自動的にインポートします。インストーラーが管理パックのインストールに失敗した場合は、SCOM コンソールで、[管理パックのインポート] ウィザードまたは [Dell EMC Feature Management Dashboard] を使用して管理パックをインポートしてください。

メモ: 分散型の環境では、デバイスの検出が正常に行われな場合があります。エラー メッセージに表示されているすべての条件が検証されていることを確認してから、デバイスを検出します。

検出されたサーバーは、[Dell EMC 状態ビュー] の [Dell EMC サーバー (iSM) 状態ビュー] の下に表示されます。

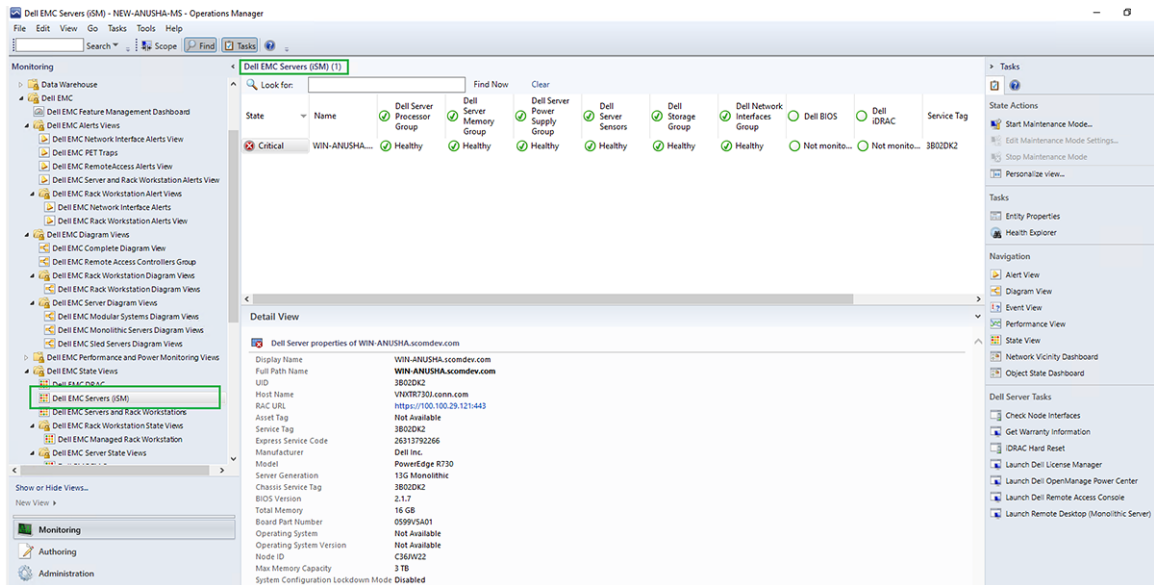


図 1. iSM-WMI を使用して検出された PowerEdge サーバー

初めて iDRAC サービス モジュール (iSM) から Dell EMC PowerEdge サーバーが検出されると、Dell Server (iSM) informational alert が生成されます。この情報アラートは、1 回限りのアラートです。

iSM-WMI を使用したオブジェクトの検出

このタスクについて

[Dell EMC PowerEdge サーバーの検出] - Dell EMC PowerEdge サーバーを分類し、キーの属性とコンポーネントを入力します。

iSM-WMI を使用した DSMPS の PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能

SCOM コンソールの [モニタリング] ペインを使用して、検出された Dell EMC PowerEdge サーバーの正常性情報を提供するビューを選択します。SCOM コンソールで検出されるデバイスの重要度レベルに応じて、ネットワーク上の Dell EMC PowerEdge サーバーの正常性を示すことができます。

これには、一定間隔とイベント発生時の両方における、Dell EMC モジュラー型サーバー、Dell EMC モノリス型サーバー、および Dell Precision ラック型ワークステーションのグループレベルでの正常性のモニタリングが含まれます。

iSM-WMI を使用した DSMPS の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能のビューオプション

DSMPS には、SCOM コンソールで [モニタリング] > [Dell EMC] を選択して、サーバーおよびラック型ワークステーションをモニタリングするための次のビュータイプが用意されています。

- iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能のアラートビュー、p. 20
- iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能のダイアグラムビュー、p. 20
- iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能でのパフォーマンスと電源モニタリングビュー、p. 20
- iSM-WMI を使用した DSMPS モニタリング機能の状態ビュー、p. 21

iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能のアラート ビュー

このビューは、iSM-WMI を使用して Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能からハードウェアおよびストレージ イベントを管理するために使用できます。Broadcom およびインテル ネットワーク インターフェイス カード (NIC) から受け取ったイベントのアラートのリンクアップおよびリンクダウンが表示されます。

iSM-WMI を使用して PowerEdge サーバーおよびワークステーション用の DSMPS のモニタリング機能によって表示されるアラート ビューを表示するには、次の手順を実行します。

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC アラート ビュー] を展開します。次のアラートが表示されます。
 - [Dell EMC ネットワーク インターフェイス アラート ビュー] - 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウン アラート。
 - [Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーション アラート] - iDRAC7、iDRAC8、または iDRAC9 を搭載した第 12 世代、第 13 世代、および iDRAC9 ベースの PowerEdge サーバー、PowerVault サーバー、Dell Precision ラックの SNMP トラップが表示されます。
 - Dell EMC ラック型ワークステーションアラートビュー
 - [Dell EMC ネットワーク インターフェイス アラート] - 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウン アラート。
 - [Dell EMC ラック型ワークステーションアラート]

[DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示されるアラート ビュー](#)、p. 48 を参照してください。
3. 必要なアラート ビューを選択します。右ペインに、アラートの重要度、解決状態、ユーザーに割り当てられたアラートなど何らかの条件を満たすアラートが表示されます。
4. [アラート詳細] セクションで詳細を表示するアラートを選択します。

iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能のダイアグラム ビュー

このタスクについて

Dell EMC ダイアグラム ビューには、ネットワーク上のすべての Dell EMC PowerEdge サーバーおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC ダイアグラム ビュー] を展開します。
3. [Dell EMC ダイアグラム ビュー] フォルダーに移動して、使用可能なダイアグラム ビューを確認します。[DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって表示されるダイアグラム ビュー](#)、p. 49 を参照してください。
4. 必要な [Dell EMC ダイアグラム ビュー] を選択して、右ペインで選択した Dell EMC サーバーまたはラック型ワークステーションの階層的な図を表示します。
5. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、[詳細ビュー] セクションに詳細を表示します。

iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能でのパフォーマンスと電源モニタリング ビュー

このタスクについて

Dell EMC パフォーマンスと電源モニタリングを SCOM コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM の左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [モニタリング] ペインで、[Dell EMC] > [Dell EMC パフォーマンスおよび電源モニタリング ビュー] を展開します。次のパフォーマンスおよび電源モニタリング ビューを使用できます。
 - [Dell パフォーマンスビュー (iSM)]
 - [ディスクパフォーマンス - iSM (%)]

i **メモ:** すべてのパフォーマンス メトリック ルールは、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能に対してデフォルトでは無効に設定されています。

3. システム ボードの使用率メトリックを表示するには、[Dell EMC パフォーマンスと電源モニタリング] > [Dell EMC システム ボードの使用率] をクリックして、以下のビューを表示します。
 - [CPU 使用率 - iSM (%)]
 - [IO 使用率 - iSM (%)]
 - [メモリ使用率 - iSM (%)]
 - [システム全体の使用率 - iSM (%)]
4. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、システムごとに図形式で表示されます。

次の手順

ユニット モニターは、パフォーマンス カウンターを2 サイクル連続して監視し、しきい値を超えているかどうかを確認します。しきい値を超えると、Dell EMC PowerEdge サーバの状態が変化し、アラートが生成されます。このユニット モニターはデフォルトで無効になっています。SCOM コンソールの [オーサリング] ペインのしきい値を上書き (有効化) できます。ユニット モニターは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション モニタリング機能の [Dell Windows Server] オブジェクトで使用できます。ユニット モニターのしきい値を有効にするには、[パフォーマンスおよび電源のモニタリング ユニット モニターの有効化](#)、p. 14 を参照してください。

PowerEdge サーバのパフォーマンス収集ルールを有効にする方法、およびパフォーマンス情報の収集に関する詳細については、[SCOM コンソールで設定された PowerEdge サーバ パフォーマンス コレクション ルールの有効化](#)、p. 15 を参照してください。

iSM-WMI を使用した DSMPS モニタリング機能の状態ビュー

このタスクについて

状態ビューを使用して、DSMPS のさまざまなモニタリング機能でモニターされる Dell EMC デバイスの正常性を表示することができます。デバイスの状態を表示するには、次の手順を実行します。

- #### 手順
1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
 2. [Dell EMC] > [Dell EMC 状態ビュー] を展開します。
モニタリング機能に基づいて、さまざまな状態ビューがリストされます。[DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー](#)、p. 52 を参照してください。
 3. コンポーネントに関するデータを表示するには、コンポーネントを選択します。
[詳細ビュー] セクションに情報が表示されます。

タスクの結果

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。[検出されたデバイスの重要度レベル](#)、p. 43 で、DSMPS が対応する重大度レベルで使用されるさまざまな状態コンポーネントについて説明しています。

DSMPS を使用した SCOM コンソールでの DRAC の検出と管理

トピック：

- DRAC の DSMPS モニタリング機能の概要
- DRAC の検出と分類
- DSMPS を使用した DRAC デバイスの検出と有効化
- DSMPS を使用した DRAC のモニタリング

DRAC の DSMPS モニタリング機能の概要

このタスクについて

DRAC モニタリング機能は、iDRAC6、iDRAC7、iDRAC8 などのさまざまな世代の iDRAC システムを検出し、SNMP を使用してモニタリングします。

① メモ: DRAC モニタリング機能は、iDRAC9 以降の世代の PowerEdge サーバーでは廃止されています。デル・テクノロジーは、iDRAC9 システムには Dell EMC OpenManage Integration with Microsoft System Center—Operations Manager (OMIMSSC) アプリケーションを使用することをお勧めします。OMIMSSC の導入および設定に関する詳細については、デル・テクノロジーのサポート サイトの『System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration with Microsoft System Center ユーザーズガイド』を参照してください。

DRAC の検出と分類

このタスクについて

DSMPS 機能を使用して、Dell Remote Access Controller (DRAC) と Integrated DRAC (iDRAC) を検出して分類することができます。次の表に、Dell DRAC モニタリング機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細を一覧にして示します。

表 5. DRAC の検出と分類

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Remote Access Controller	Remote Access Controller グループ	iDRAC モジュラー型、および iDRAC モノリス型インスタンス。 ① メモ: DRAC モニタリング機能は、第 14 世代 PowerEdge サーバーの検出をサポートしていません。これらのデバイスは、サーバーおよびラック型ワークステーション モニタリング機能の拡張可能エディションを使用して管理できます。

DSMPS を使用した DRAC デバイスの検出と有効化

このタスクについて

DRAC デバイスは、SCOM コンソールの [管理] セクションでネットワーク デバイスとして検出される必要があります。SCOM コンソールで DRAC デバイスを検出するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM 管理者として管理サーバーにログインします。
2. 左ペインで、[管理] を選択します。
3. 左ペインで、[検出ウィザード] をクリックします。
4. [ネットワーク デバイス] を選択し、[コンピューターとデバイスの管理ウィザード] からプロンプトが表示されたら、それらのタスクを完了します。

詳細については、[Microsoft SCOM のマニュアル](#)を参照してください。

5. [デバイス コンソールの追加] 画面で、検出する IP アドレスを入力します。
6. SNMP V1 または SNMP V2 の [Run As アカウント] ドロップダウン メニューから、必要な Run As アカウントを選択します。
7. [Dell EMC Feature Management Dashboard] を使用して、DRAC モニタリング機能を有効にします。

タスクの結果

[SCOM のための拡張性の推奨]

分散型セットアップにおける多数ネットワークデバイスの管理時に、デバイスタイプごとに管理サーバの専用リソースプールを使用してください。管理グループでサポートされているデバイスの数の詳細については、『Microsoft SCOM マニュアル』の「サイジングガイド」のセクションを参照してください。

DSMPS を使用した DRAC のモニタリング

DSMPS をインストールした後、SCOM の [モニタリング] ペインを使用して、検出された Dell DRAC デバイスの完全な正常性情報を提供するビューを選択することができます。DRAC モニタリング機能は、Dell DRAC デバイスの正常性を検出および監視します。一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell DRAC デバイスの正常性のモニタリングが含まれます。[検出されたデバイスの重要度レベル](#)、p. 43 は、ネットワーク上の Dell DRAC デバイスの正常性を示します。

ⓘ **メモ:** DRAC デバイスの正常性を監視するには、SNMP モニタリング アカウント付きのコミュニティー文字列の Run As アカウントを、Dell Remote Access Controller クラスまたは各 DRAC オブジェクト (異なる DRAC デバイスで異なる Run As アカウントがある場合) に関連付けます。

DSMPS の DRAC モニタリング機能の表示オプション

DSMPS は、SCOM コンソールで [モニタリング] > [Dell EMC] を選択することで、DRAC をモニタリングするための次のタイプのビューを提供します。

- iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能のアラート ビュー、p. 20
- iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能のダイアグラム ビュー、p. 20
- iSM-WMI を使用した DSMPS のモニタリング機能でのパフォーマンスと電源モニタリング ビュー、p. 20
- iSM-WMI を使用した DSMPS モニタリング機能の状態ビュー、p. 21

DSMPS の DRAC モニタリング機能のアラート ビュー

このアラート ビューを使用して、Dell EMC DRAC デバイスからハードウェアおよびストレージ イベントを管理することができます。DRAC デバイスによって送信された SNMP トラップとプラットフォーム イベントトラップ (PET) は、DRAC モニタリング機能によって表示されます。

SCOM コンソールで DRAC アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC アラート ビュー] を展開します。次のアラートが表示されます。

- [PETトラップ] - これらのアラートには、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスからの PET トラップに関する情報が含まれています。
- [リモートアクセスアラート] - これらのアラートには、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスからの SNMP トラップに関する情報が含まれています。

DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示されるアラートビュー、p. 48 を参照してください。

3. 必要なアラートビューを選択します。右ペインに、アラートの重要度、解決状態、ユーザーに割り当てられたアラートなど何らかの条件を満たすアラートが表示されます。
4. [アラート詳細] セクションで詳細を表示するアラートを選択します。

DSMPS の DRAC モニタリング機能のダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビューには、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell DRAC デバイスの階層的な図が表示されます。SCOM コンソールで DRAC モニタリング機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC ダイアグラムビュー] を展開します。
3. [モニタリング] ペインで、次のビューの [Dell EMC ダイアグラムビュー] フォルダーを選択します。
 - Dell EMC 完全ダイアグラムビュー
 - Remote Access Controller グループ

DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって表示されるダイアグラムビュー、p. 49 を参照してください。

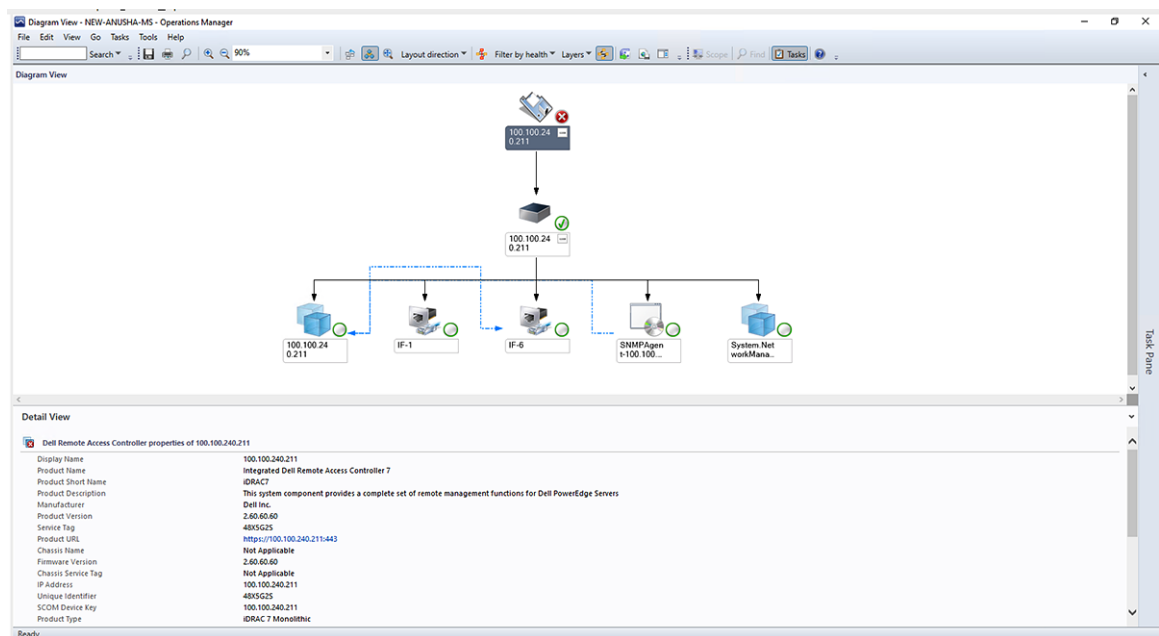


図 2. Remote Access Controller グループ ダイアグラムビュー

4. 必要な [Dell EMC ダイアグラムビュー] を選択して、右ペインで選択した DRAC の階層的な図を表示します。
5. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、[詳細ビュー] セクションに詳細を表示します。

DSMPS の DRAC モニタリング機能の状態ビュー

このタスクについて

状態ビューは、DSMPS のさまざまなモニタリング機能によってモニタリングされている Dell EMC DRAC デバイスの正常性を表示するために使用できます。デバイスの状態を表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC 状態ビュー] を展開します。

モニタリング機能に基づいて、さまざまな状態ビューがリストされます。DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー、p. 52 を参照してください。

3. コンポーネントに関するデータを表示するには、コンポーネントを選択します。
[詳細ビュー] セクションに情報が表示されます。

タスクの結果

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。検出されたデバイスの重要度レベル、p. 43 で、DSMPS が対応する重大度レベルで使用するさまざまな状態コンポーネントについて説明しています。

DSMPS モニタリング機能用の SCOM コンソールでサポートされているタスク

トピック：


- SCOM での DSMPS モニタリング機能ベース タスクの実行
- DSMPS モニタリング機能を使用して Dell EMC デバイスで実行されるタスク

SCOM での DSMPS モニタリング機能ベース タスクの実行

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[モニタリング] を選択します。
2. [Dell EMC] を展開します。
3. [ダイアグラム ビュー]、[状態ビュー]、または [アラート ビュー] のいずれかを展開します。
4. タスクを実行するデバイスを選択します。
デバイスによって使用されるモニタリング機能を使用して実行可能なタスクのリストが、SCOM コンソールの [タスク] ペインに表示されます。
5. [タスク] ペインで、実行するタスクをクリックします。
タスクが開始され、タスクが正常に実行されると、タスクのサマリーが表示されます。

タスクの結果

 **メモ:** 一部のタスクには、正常に実行するための前提条件があります。

DSMPS モニタリング機能を使用して Dell EMC デバイスで実行されるタスク

デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが SCOM の [タスク] ペインに表示されます。これは、DSMPS のさまざまなモニタリング機能を使用して Dell EMC デバイスで実行できるタスクのリストです。

表 6. DSMPS モニタリング機能を使用して Dell EMC デバイスで実行されるタスク

SCOM コンソールで実行される DSMPS タスク	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	DRAC モニタリング機能
ノード インターフェイスの確認	[はい]	[はい]	[はい]
保証情報の取得	-	[はい]	いいえ
OpenManage Server Administrator(モノリス型サーバー) の起動	[はい]	いいえ	[はい]

表 6. DSMPS モニタリング機能を使用して Dell EMC デバイスで実行されるタスク

SCOM コンソールで実行される DSMPS タスク	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	DRAC モニタリング機能
Dell EMC Remote Access Console の起動	[はい]	[はい]	[はい]
Remote Desktop (モノリス型サーバー) の起動	[はい]	[はい]	[はい]
iDRAC ハードリセット	いいえ	[はい]	いいえ
ESM ログのクリア	[はい]	いいえ	いいえ
[電源管理関連のタスク]			
電源ステータスのチェック	[はい]	いいえ	いいえ
強制電源オフ	[はい]	いいえ	いいえ
パワーサイクル	[はい]	いいえ	いいえ
正常電源オフ	[はい]	いいえ	いいえ
電源オン	[はい]	いいえ	いいえ
電源リセット	[はい]	いいえ	いいえ
LED 識別表示オン	[はい]	いいえ	いいえ
LED 識別表示オフ	[はい]	いいえ	いいえ

SCOM コンソールでモニタリング機能ベースのタスクを実行するには、SCOM での DSMPS モニタリング機能ベース タスクの実行、p. 26 を参照してください。

ノードへの接続の確認


[ノード インターフェイスの確認] タスクを実行することにより、選択した Dell EMC デバイスまたは DRAC/iDRAC とそれに対応するインターフェイスに到達できるかどうかを確認することができます。このタスクが正常に実行されると、サーバーとインターフェイスへの到達可能性のサマリーが表示されます。

PowerEdge サーバーの保証情報の表示

[保証情報の取得] タスクを実行することにより、Dell EMC デバイスの保証ステータスを表示することができます。

SCOM コンソールを使用したモノリス型サーバーでの OMSA の起動

[Dell OpenManage Server Administrator の起動] タスクを実行することにより、Dell OMSA アプリケーションを起動することができます。

 **メモ:** Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) タスクは、Internet Explorer を使用する場合はリモート コンソールを開きます。

SCOM コンソールを使用した iDRAC の起動

[Dell EMC Remote Access Console の起動] タスクを実行することにより、Dell iDRAC アプリケーションを起動することができます。

SCOM コンソールを使用したモノリス型サーバーでのリモート デスクトップの起動

[Dell EMC リモート デスクトップの起動] タスクを実行することにより、Dell EMC モノリス型サーバーのリモート デスクトップを起動することができます。

- メモ:** Dell EMC リモート デスクトップは、Windows オペレーティング システムがインストールされており、管理下ノードでリモート デスクトップが手動で有効化されている場合のみ開始することができます。

リモート iDRAC のハード リセット操作の実行

サーバーのオペレーティング システムをシャット ダウンせずに、iDRAC をリモートでリセットすることができます。このタスクは、WMI を使用して iDRAC サービス マネージャー (iSM) から検出された PowerEdge サーバーでのみ使用できます。リモートで iDRAC をリセットするには、まずホスト オペレーティング システムの管理者権限があることを確認する必要があります。

iDRAC をリモートでリセットするには、SCOM コンソールで次の手順を実行します。

1. 左ペインで、[モニタリング] をクリックします。
2. [Dell EMC] > [Dell EMC 状態ビュー] > [Dell EMC サーバー (iSM) 状態ビュー] をクリックします。状態情報が表示され、WMI を使用して iSM から検出されたサーバーが作業中のペインに一覧表示されます。
3. iDRAC をリモートでリセットするサーバーを選択します。右側のペインの [タスク] セクションに、選択したサーバーで実行できるタスクが表示されます。
4. [iDRAC のハード リセット] をクリックします。[タスクの実行 - iDRAC のハード リセット] ウィンドウが表示されます。
5. [実行] をクリックします。[[タスクステータス - iDRAC のハード リセット]] ウィンドウがリセットの状態が表示されます。
6. [閉じる] をクリックします。iDRAC は、サーバーのオペレーティング システムをシャット ダウンせずに正常にリセットされません。

Embedded Server Management (ESM) ログのクリア

ハードウェア ログとも呼ばれる Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、エラー修正コード (ECC)、システムのリセットと起動、およびブロープしきい値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステム イベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。

[ESM ログのクリア] タスクを実行するには、次の手順を実行します。

1. 左ペインで、[モニタリング] をクリックします。
 2. [Dell EMC] を展開します。
 3. [ダイアグラム ビュー]、[状態ビュー]、または [アラート ビュー] のいずれかを展開します。
 4. タスクを実行するデバイスを選択します。デバイスによって使用されるモニタリング機能を使用して実行可能なタスクのリストが、SCOM コンソールの [タスク] ペインに表示されます。
 5. [タスク] ペインで、[Dell EMC Windows Server タスク] > [ESM ログのクリア] をクリックします。[タスクの実行] ウィンドウが表示されます。
 6. [実行] をクリックします。選択したデバイスの ESM ログが削除されます。
- メモ:** [ESM ログのクリア] タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。たとえば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、ESM ログのクリア タスクの開始が成功したことを表しています。

電源管理関連のタスク

- Dell EMC PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの電源ステータスをチェックする — このタスクは、OMSA を使用して DSMPS によってモニタリングされているサーバーでのみ実行できます。[電源ステータスの確認] タスクを実行することにより、電源ステータスを確認し、IPMI シェルを使用して電源制御タスクを管理することができます。
- オペレーティング システムをシャット ダウンしている PowerEdge サーバーの電源を切る — [強制電源オフ] タスクを実行することにより、オペレーティング システムをシャット ダウンせずに、PowerEdge サーバーの電源をオフにすることができます。
- PowerEdge サーバーの電源を入れ直す — [電源サイクル] タスクを実行することにより、PowerEdge サーバーの電源をオフにして、しばらくしてから再度電源をオンにすることができます。
- PowerEdge サーバーの電源を正常にオフにする — [正常電源オフ] タスクを実行することにより、オペレーティング システムをシャット ダウンし、その後 PowerEdge サーバーの電源をオフにすることができます。

- PowerEdge サーバーの電源をオンにする — [電源オン] タスクを実行することにより、PowerEdge サーバーの電源がオフの状態の場合に、電源をオンにすることができます。
- PowerEdge サーバー電源のリセット — [電源リセット] タスクを実行することにより、PowerEdge サーバーの電源がオフの状態の場合に、電源をオンにすることができます。
- 識別 LED を有効にして OMSA ベースのサーバーを識別する — [LED 識別表示オン] タスクを実行することにより、LED の点滅を使用してサーバーを識別する機能を有効にすることができます。同様に、[LED 識別表示オフ] タスクを実行すると、LED の点滅を使用してサーバーを識別する機能が無効になります。

① **メモ:** アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソール タスクを作成します。コンソール タスクの作成の詳細については、[識別 LED を使用したデバイスおよびデバイス電源ステータスの識別](#)を参照してください。

DSMPS レポートの生成

このタスクについて

SCOM コンソールのレポート機能では、Dell EMC OpenManage Windows イベント ログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、RAID 設定についてのレポートを作成できます。

メモ:

- Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能は、オブジェクトレベルのレポートのみをサポートします。
- Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定のレポートは、詳細エディションのみで使用可能です。

トピック:

- SCOM コンソールでの PowerEdge サーバーに関するレポートの表示

SCOM コンソールでの PowerEdge サーバーに関するレポートの表示

手順

1. SCOM コンソールで、[レポート] を選択します。
 2. 次を選択します。
 - a. OpenManage Windows イベント ログ レポートの場合、[Dell Windows Server (拡張可能エディション)]。
 - b. BIOS 設定、ファームウェア、およびドライバのバージョン、および RAID 設定のレポートの場合、[Dell Windows Server (詳細エディション)]。
- メモ:** サーバー インスタンスをクリックして、ダイアグラム ビューまたは状態ビューから [レポート] にアクセスすることもできます。[Dell レポート] のオプションは、Dell 製システムのインスタンス レポートの下の [タスク] ペインにあり、デフォルトの SCOM レポートと共に表示されます。

SCOM コンソールでの DSMPS レポートの生成

手順

1. SCOM コンソールで、[レポート] を選択します。
2. 生成するレポートに基づいて、作業中のペインで、次のいずれかのアクションを実行します。
 - a. OpenManage Windows イベント ログ レポートの場合：[Dell Windows Server (拡張可能エディション)] を選択し、[OpenManage Windows イベント ログ] を選択します。
 - b. BIOS 設定レポートの場合：[Dell Windows Server (詳細エディション)] を選択し、[BIOS 設定] を選択します。
 - c. ファームウェアおよびドライバ レポートの場合：[Dell Windows Server (詳細エディション)] を選択し、[ファームウェア およびドライバのバージョン] を選択します。
 - d. RAID 設定レポートの場合：[Dell Windows Server (詳細エディション)] を選択し、[RAID 設定] を選択します。
3. [タスク] ペインで、[開く] をクリックします。
4. レポートを生成する期間を選択します。
5. [オブジェクトの追加] をクリックします。
6. クラスの次のオブジェクトを検索し、[追加] をクリックします：**Dell Windows Server**。
オブジェクトが [オブジェクトの選択] ペインに表示されます。
7. 必要なプロパティを選択します。
8. [実行] をクリックします。

タスクの結果

選択したレポートが生成されます。

DSMPS のアップグレード

Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) バージョン 7.1.1 を使用している場合は、次のいずれかにアップグレードすることができます。

- OMIMSSC アプライアンスの最新バージョン。
- 最新バージョンの DSMPS (インストーラーを使用)。

トピック :

- DSMPS を最新バージョンの OMIMSSC にアップグレード
- DSMPS の以前のバージョンからのアップグレード

DSMPS を最新バージョンの OMIMSSC にアップグレード

DSMPS バージョン 7.0 から OMIMSSC アプライアンスの最新バージョンにアップグレードする際には、次の手順を実行します。

1. Hyper-V VM に VHD ファイルを導入して、OMIMSSC アプライアンスをセットアップします。
2. OMIMSSC アプライアンスを使用して、管理サーバーを登録します。管理パックがアップグレードされるまで、数分待ちます。
 ⓘ **メモ:** 必要なプロキシ管理サーバーの数を計画するには、サポートサイトの『System Center Operations Manager 向け OpenManage Integration with Microsoft System Center の拡張性』テクニカル ホワイト ペーパーを参照してください。
3. OpenManage Integration Dashboard を開き、[MSSC と同期] 操作を実行して、SCOM コンソールで検出されたデバイスを同期します。例えば、SCOM で検出された SMASH デバイスを同期するには、次の手順を実行します。
 - a. Dell EMC OpenManage Integration Dashboard の [サーバー ビュー] に移動します。
 - b. [MSSC と同期] をクリックします。

MSSC と同期する操作ではまた、[DellProxyMSGGroup] に追加されたプロキシ管理サーバーの情報も同期されます。

⚠ **注意:** 多数のデバイスに拡張する場合は、必要な数のプロキシ管理サーバーを追加するようにしてください。

ⓘ **メモ:** 7.0 ビューで WS-Man プロトコルによって検出された Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能が生成したパフォーマンス メトリックは保存されません。

DSMPS の以前のバージョンからのアップグレード

ⓘ **メモ:** DSMPS バージョン 6.3 を DSMPS バージョン 7.1以降にアップグレードする機能はサポートされていません。

インストーラーは、DSMPS バージョン 7.0 からインストールされた機能を検出し、自動的に DSMPS をバージョン 7.1以降にアップグレードします。

ⓘ **メモ:** アップグレードが完了した後、インストーラーが MS の再起動を求めるメッセージを表示する場合があります。再起動は不要であるため、このメッセージは無視してください。

ⓘ **メモ:** PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションに対して生成されたアラートは確認します。

ⓘ **メモ:** 低パフォーマンスメトリックは、アップグレード後も保持されます。

DSMPS のアンインストール

このタスクについて

以下を使用して Dell EMC Server Management Pack Suite (DSMPS) をアンインストールすることができます。

- Windows のコントロール パネルを開きます。
- DSMPS EXE ファイルの [削除] オプション。

1つまたは複数の管理サーバーを登録解除して、Dell EMC Management Pack を削除することができます。

トピック：

- [Windows コントロール パネルを使用した DSMPS のアンインストール](#)
- [DSMPS インストーラー EXE ファイルを使用した DSMPS のアンインストール](#)

Windows コントロール パネルを使用した DSMPS のアンインストール

手順

1. [スタート] > [コントロール パネル] > [プログラムのアンインストール] の順にクリックします。
2. [Dell EMC Server Management Pack] を右クリックし、[アンインストール] をクリックします。
3. 画面の指示に従って、アンインストール プロセスを完了します。

DSMPS インストーラー EXE ファイルを使用した DSMPS のアンインストール

手順

1. ダウンロードした DSMPS インストール ファイルを解凍した場所から、Dell_EMG_Server_Management_Pack.exe ファイルを実行します。
Dell EMC Server Management Pack の [ようこそ] 画面が表示されます。
2. [次へ] をクリックします。
3. [削除] を選択し、[次へ] を選択します。
[プログラムの削除] 画面が表示されます。
4. [削除] をクリックします。

タスクの結果

DSMPS をアンインストールすると、SCOM にインポートされた Dell EMC Management Pack が削除されます。SCOM から管理パックを削除する方法の詳細については、それぞれのマイクロソフトのマニュアルを参照してください。

参照トピック

トピック：

- DSMPS でサポートされているモニタリング機能
- 検出されたデバイスの重要度レベル
- OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングでサポートされている検出機能
- DRAC のモニタリング用に DSMPS でサポートされている検出機能
- DSMPS のさまざまなモニタリング機能によってモニタリングされるハードウェア コンポーネント
- DSMPS のモニタリング機能で提供されるビュー オプション
- iSM-WMI を使用した DSMPS の主な PowerEdge サーバー モニタリング機能
- DSMPS ユニットのモニター
- DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって使用されるイベント ルール

DSMPS でサポートされているモニタリング機能

このセクションのトピックでは、SCOM 向け DSMPS でサポートされるモニタリング機能について説明します。

DSMPS での OMSA を使用した Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能

Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能は、対応 Windows オペレーティング システムがインストールされている次のデバイスを OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用して検出およびモニタリングします。

- PowerEdge モジュラー型サーバーおよび PowerEdge モノリス型サーバー
- PowerVault サーバ
- Dell EMC ブランドまたは Dell EMC OEM Ready サーバーのハードウェア モニタリング
- Dell Precision ラック

これらのデバイスのインベントリとモニタリングは、サーバーにインストールされている OpenManage Server Administrator (OMSA) アプリケーション (ライセンス不要のモニタリング機能) を介して実行されます。

DSMPS は、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の拡張可能バージョンを SCOM に自動的にインポートします。

DSMPS でサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を使用するために必要な管理パック

Dell EMC Server Management Pack Suite の管理パックが正常にインポートされると、必要な管理パックがインポートされ、SCOM コンソールの [管理] ペインに表示されます。

PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションをモニタリングするための管理パックの名前とライブラリーの場所

表 7. サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能のための管理パック

表 7. サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能のための管理パック

特長	管理パックのデフォルト場所	管理パック
[Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング]	ライブラリー： %PROGRAMFILES%\Dell Management Packs\Server Mgmt\7.2\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック： %PROGRAMFILES%\Dell Management Packs\Server Mgmt\7.2\Server Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> • Dell.Connections.HardwareLibrary.mp • Dell.OperationsLibrary.Server.mp 拡張可能機能 <ul style="list-style-type: none"> • OMSA を使用して検出される Dell EMC サーバーまたはラック型ワークステーションの場合： <ul style="list-style-type: none"> ○ Dell.Model.Server.mp ○ Dell.WindowsServer.Scalable.mp ○ Dell.View.Server.mp ○ (オプション) Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp ⓘ メモ: Dell.WindowsServer.InformationAlertsOn.mp (情報アラートを受信したい場合にのみインポート) 詳細機能 <ul style="list-style-type: none"> • Dell.WindowsServer.Detailed.mp およびすべての拡張可能管理パック

DSMPS でサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を使用するために必要なシステム設定

DSMPS でサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を使用するための Management Server (MS) の要件

Microsoft SCOM Management Server でサポートされているオペレーティング システム：

- SCOM 2019 については、<https://docs.microsoft.com/en-us/system-center/scom/welcome?view=sc-om-2019> を参照してください。
- SCOM 1807 については、<https://docs.microsoft.com/en-us/system-center/scom/whats-new-in-om?view=sc-om-1807> を参照してください。
- SCOM 1801 については、<https://docs.microsoft.com/en-us/system-center/scom/whats-new-in-om?view=sc-om-1801> を参照してください。
- SCOM 2016 については、<https://docs.microsoft.com/en-us/system-center/scom/release-build-versions-2016?view=sc-om-2016> を参照してください。

Microsoft SCOM Management Server のソフトウェア要件：

- (オプション) OpenManage Server Administrator (Server Administrator) の DRAC ツール - Dell EMC サーバーとラック型ワークステーションの iDRAC とその NIC のインベントリーとモニタリングを行います。
- (オプション) ベースボード マネジメント コントローラー (BMC) 管理ユーティリティ - デル管理下システムでリモート電源制御タスクまたは LED 識別制御タスクを実行します。

ⓘ **メモ:** DRAC ツール、OpenManage Server Administrator (Server Administrator)、BMC 管理ユーティリティには Dell Systems Management Tools and Documentation メディアからアクセスするか、デル・テクノロジーズのサポート サイトからダウンロードします。

Management Server アクション アカウント特権 (MSAA)

- DRAC 検出とそれに対応する DRAC コンソールの起動 — 管理者またはパワー ユーザー。
- ESM ログ データのクリア — 管理者またはパワー ユーザー。あるいは、MSAA に標準のユーザー特権が付与されている場合、ユーザーは 事前定義された RunAs アカウントの使用 を選択する代わりに、パワーユーザー以上の特権のあるタスク資格証明を入力して、ESM ログのクリア タスクを実行できます。

DSMPS でサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を使用するための管理下システム要件

サポートされている OpenManage Server Administrator のバージョン (Server Administrator Storage Management Service を含む) を管理下システムにインストールします。

- 管理下システムで OMSA をアップグレードまたはアンインストールする場合、管理下システムのアラート ビューに、「Script or Executable failed to run」というエラーが表示されることがあります。

- 管理下システムが Management Server ではない場合、アップグレードまたはアンインストールが完了するまで、システムをメンテナンスモードに切り替えてください。管理下システムが Management Server の場合は、アップグレードまたはアンインストールの完了後に、手動でアラートを閉じることができます。
- ① **メモ:** OMSA 7.2 DRAC ツールを使用しているシステムでは、OMSA 7.4 DRAC ツール以降にアップグレードすることをお勧めします。
- ① **メモ:** 管理下システムでサポートされているオペレーティングシステムの詳細については、サポートサイトの『OpenManage Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

DSMPS で PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションをモニタリングするための機能管理タスク

DSMPS をインストールした後、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能が SCOM に自動的にインポートされます。また、その関連タスクは、[機能管理タスク] セクションから利用できます。次の表に、[Dell EMC Feature Management Dashboard] で使用できるサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の一覧を示します。

- ① **メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、モニタリング機能のインポート中に Dell EMC Feature Management Dashboard が、インポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。
- ① **メモ:** Dell EMC Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 8. DSMPS での Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の機能管理タスク

タスク	説明
[エージェントプロキシの有効化]	エージェント プロキシを有効にします。
[優先モニタリング方法として設定]	セットアップのサーバーおよびラック型ワークステーションが、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能とデル・テクノロジーズのサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能の両方でモニタリングされている場合、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能をお使いの Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションの優先モニタリング方法として有効にします。
[拡張可能機能への設定]	システムで詳細機能が実行されている場合、Dell EMC Feature Management Dashboard は詳細バージョンから拡張可能バージョンに切り替わります。以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこのモニタリング機能の最新バージョンを使用してください。
[詳細機能への設定]	システムで拡張可能機能が実行されている場合、Dell EMC Feature Management Dashboard は拡張可能バージョンから詳細バージョンに切り替わります。以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこのモニタリング機能の最新バージョンを使用してください。
[情報アラートをオンに設定]	Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションの拡張可能モニタリングの使用時に、情報アラートがオンになります。
[情報アラートをオフに設定]	Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションの拡張可能モニタリングの使用時に、情報アラートがオフになります。
[ダッシュボードの更新]	[Dell EMC Feature Management Dashboard] を更新します。 ① メモ: [ダッシュボードの更新] タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。

表 8. DSMPS での Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能の機能管理タスク

タスク	説明
[ノード数の更新]	この機能を使用して、監視されるサーバーのノード数を更新します。
[モニタリング機能の削除]	Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を削除します。

iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバーとラック型ワークステーションのモニタリング機能

iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能は、次のデバイスの検出方法およびモニタリングに基づいて、詳細または拡張可能なインベントリを提供します。

- 第 12 世代、第 13 世代、iDRAC 9 ベースの PowerEdge サーバー
- PowerVault サーバ
- Dell EMC ブランドまたは Dell EMC OEM Ready サーバーのハードウェア モニタリング、および Dell EMC Microsoft Storage Spaces Direct Ready ノード。
- Dell Precision ラック

これらのデバイスのインベントリおよびモニタリングは、モニタリング設定に基づいて、次の方法のいずれかで管理下の Dell EMC サーバーまたはラック型ワークステーションにインストールされた iDRAC または iDRAC サービス モジュール (iSM) から実行できます。

- ホスト OS を介した iDRAC アクセス
- WMI を使用した iSM

iSM の対応プラットフォームのリストについては、サポート サイトの『iDRAC サービス モジュール インストール ガイド』を参照してください。

管理パック

表 9. Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能に必要な管理パック

特長	管理パックのデフォルト場所	管理パック
iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバーとラック型ワークステーションのモニタリング。	ライブラリー： %PROGRAMFILES%\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.2\Library 拡張可能管理パックおよび詳細管理パック： C%PROGRAMFILES%\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.2\Server Monitoring	ライブラリ ● Dell.Connections.HardwareLibrary.mp ● Dell.OperationsLibrary.Server.mp モニタリング対象管理パック ● iSM-WMI で検出される Dell EMC サーバーまたはラック型ワークステーションの場合： ○ Dell.ManagedServer.iSM.mp ○ Dell.ManagedServer.Model.mp ○ Dell.View.Server.mp ● Dell.Model.Server.mp ● Dell.View.Server.mp

設定の前提条件

- ファイアウォールで SNMP ポートが有効になっていることを確認します。
- SCOM でアラートを受信するには、iDRAC で OS から iDRAC へのパススルー設定を有効にします。

管理サーバー (MS) の要件

- Microsoft System Center - Operations Manager 2012 以降： Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能は、Operations Manager 2012 以降を実行している管理サーバーでのみ使用できます。

- Microsoft の SMASH ライブラリー MPB : Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能を使用して Dell EMC PowerEdge サーバーを検出するには、Microsoft の SMASH ライブラリー MPB が必要です。Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイス テンプレートのインストール、p. 68 を参照してください。

管理下システム要件

- 必要な iSM バージョンが Dell EMC デバイスにインストールされています。モニタリング要件に基づいて、iDRAC コンソールから次の機能を有効にする必要があります。
 - iSM-WMI から監視する Windows Management Instrumentation (WMI) 機能
 - ホスト IP を使用して iDRAC から監視するホスト OS からの iDRAC アクセス (試験的機能)
- iDRAC7 以降
 - ① **メモ:** iDRAC ファームウェアバージョン 2.40.40.40 以降を使用している場合は、Transport Layer Security (TLS) バージョン 1.1 以降がデフォルトで有効に設定されています。Microsoft System Center Configuration Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.2 をインストールする前に、TLS のアップデートの詳細について、「<https://www.support.microsoft.com/en-us/kb/3140245>」を参照してください。お使いの Web ブラウザに基づいて、TLS 1.1 以降のサポートを有効にする必要があります。

機能管理タスク

次の表は、[Dell EMC Feature Management Dashboard] で使用できる Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能 (iSM-WMI を使用) タスクのリストです。機能管理タスクの表にリストにされているタスクの一部は、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能をインポートした後のみ表示されます。

- ① **メモ:** イベント ログ内のエラー ログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、モニタリング機能のインポート中に [Dell EMC Feature Management Dashboard] が、インポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。

表 10. 機能管理タスク (続き)

タスク	説明
[エージェントプロキシの有効化]	対応する iSM バージョンを実行している Dell EMC PowerEdge サーバ用のエージェントプロキシを有効にし、これらのサーバの検出も始動させます。
[拡張可能機能への設定]	システムで詳細機能が実行されている場合、[Dell EMC Feature Management Dashboard] はこのモニタリング方法に対応するために詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこのモニタリング機能の最新バージョンを使用してください。
[詳細機能への設定]	システムで拡張可能機能が実行されている場合、[Dell EMC Feature Management Dashboard] はこのモニタリング方法に対応するために拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこのモニタリング機能の最新バージョンを使用してください。
[優先モニタリング方法として設定]	デバイスが Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリングと Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能の両方から監視されている場合、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能を、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションの優先モニタリング方法として有効にします。
[イベント自動解決を有効にする]	イベント自動解決機能を有効にします。
[イベント自動解決を無効にする]	イベント自動解決機能を無効にします。
[Run-As アカウントの関連付け]	このタスクでは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性モニタリングに必要なすべての Dell サーバオブジェクトに関連付けます。詳細については、 Run As アカウ

表 10. 機能管理タスク

タスク	説明
	ントの関連付けタスク - Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能、p. 68 を参照してください。
[モニタリング機能の削除]	Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能を削除します。
[ダッシュボードの更新]	[Dell EMC Feature Management Dashboard] を更新します。 i メモ: [ダッシュボードの更新] タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。
[ノード数の更新]	この機能を使用して、監視されるサーバーのノード数を更新します。

DSMPS の DRAC モニタリング機能

DRAC モニタリング機能は、iDRAC6、iDRAC7、iDRAC8 などのさまざまな世代の iDRAC システムを検出し、SNMP を使用してモニタリングします。

i **メモ:** DRAC モニタリング機能は、iDRAC9 以降のシステムでは廃止されています。iDRAC9 システムでは、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能を使用することをお勧めします。

DSMPS で DRAC モニタリング機能を使用するために必要な管理パック

表 11. DSMPS の DRAC モニタリング機能用の管理パック

特長	管理パックのデフォルト場所	必要な管理パック
[DRAC モニタリング]	ライブラリー: %PROGRAMFILES%\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.2\Library 管理パック: %PROGRAMFILES%\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\7.2\Remote Access Monitoring	ライブラリ <ul style="list-style-type: none"> ● Dell.Connections.HardwareLibrary.mp ● Dell.OperationsLibrary.Common.mp 管理パック <ul style="list-style-type: none"> ● Dell.DRAC.OM07.mp ● Dell.DRAC.OM12.mp - SCOM 2012 以降 ● Dell.Model.DRAC.mp ● Dell.OperationsLibrary.DRAC.mp ● Dell.View.DRAC.mp

DSMPS で DRAC モニタリング機能を使用するために必要な設定の前提条件

DSMPS で DRAC モニタリング機能を使用するには、SNMP ポートを有効にするようにファイアウォールを設定する必要があります。

[DRAC モニタリングの要件]

DRAC デバイスの正常性を監視するには、SNMP モニタリング アカウント付きのコミュニティ文字列の Run As アカウントを、Dell Remote Access Controller クラスまたは各 DRAC オブジェクト (異なる DRAC デバイスで異なる Run As アカウントがある場合) に関連付けます。

DSMPS の DRAC モニタリング機能の機能管理タスク

次の表に、Dell EMC Feature Management Dashboard で使用可能な DRAC モニタリング タスクを一覧にして示します。機能管理タスクの表にリストされているタスクの一部は、DRAC モニタリング機能をインポートした後にのみ表示されます。

① **メモ:** イベント ログ内のエラー ログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、モニタリング機能のインポート中に Dell EMC Feature Management Dashboard が、インポート済みのすべての依存管理パックを再インポートしたときに発生します。

① **メモ:** Dell EMC Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 12. DSMPS の DRAC モニタリング機能の機能管理タスク

タスク	説明
[DRAC モニタリング機能のインポート]	SCOM の DRAC モニタリング機能をインポートして有効にします。
[ダッシュボードの更新]	[Dell EMC Feature Management Dashboard] を更新します。 ① メモ: [ダッシュボードの更新] タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。
[ノード数の更新]	ノード数を更新します。

Feature Management Dashboard を使用した DSMPS のモニタリング機能の設定

[Dell EMC Feature Management Dashboard] は、DSMPS を使用してモニタリング機能を設定して、Dell EMC PowerEdge サーバー、Dell EMC Precision ラック、および Dell Remote Access Controller (DRAC) をモニタリングするオプションを提供します。Dell EMC Feature Management Dashboard を使用して、モニタリング機能をインポート、アップグレード、および削除することが可能です。

Dell EMC Feature Management Dashboard を使用したモニタリング機能のインポート

このタスクについて

[Dell EMC Feature Management Dashboard] を使用すると、利用可能な DSMPS モニタリング機能を表示し、機能に必要な管理パックをインポート、アップグレード、および削除するために、それらを自動的に設定することができます。分散セットアップ (SCOM 2012 の分散リソース プールを含む) では、DSMPS が最初にインストールされた管理サーバーが、すべての機能ベースの管理アクティビティをホストするために選択されます。

モニタリング機能をインポートするには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールを起動します。
2. 左ペインで、[モニタリング] を選択します。
3. [Dell EMC] > [Dell EMC Feature Management Dashboard] の順に展開します。

[Dell Technologies Feature Management Dashboard] ページでは、インストールされている Dell EMC モニタリング機能、現在使用中のバージョン、アップグレード可能なバージョン、モニタリングレベル、現在のライセンスで使用されているノードの数、必要なライセンス (存在する場合) のリストを表示することができます。

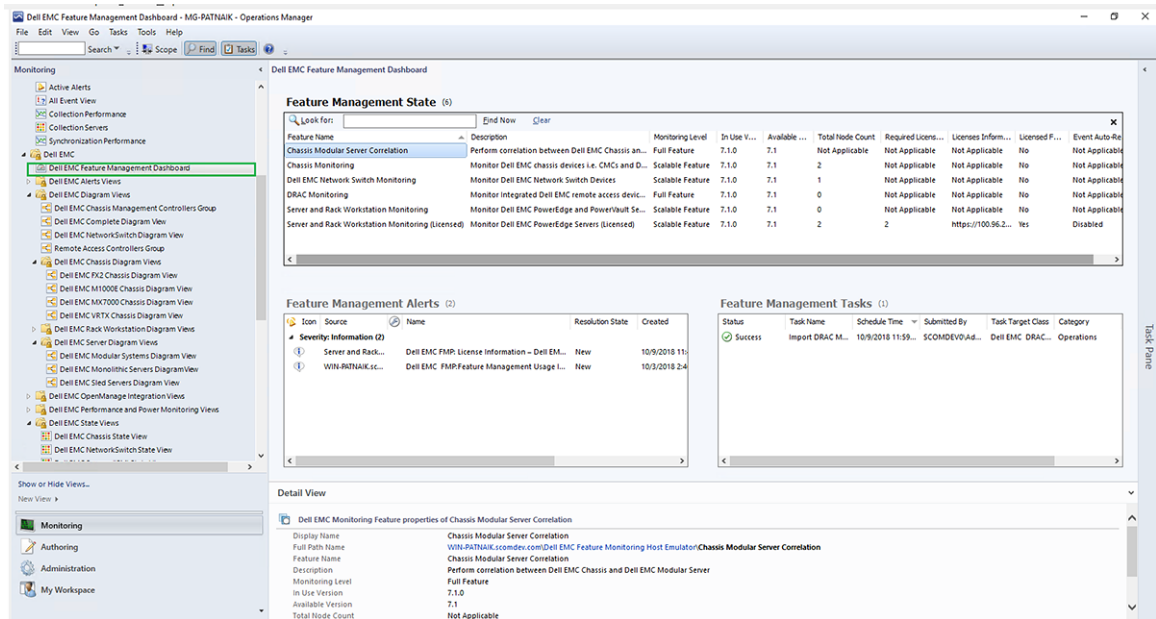


図 3. Dell EMC Feature Management Dashboard

4. インストールするモニタリング機能を選択します。
5. [タスク] ペインで、[Dell EMC モニタリング機能タスク] を展開します。
6. タスクをクリックして、機能をインポートします。
7. [タスクの実行] 画面で、[事前定義された Run As アカウントの使用] を選択します。
8. [実行] をクリックします。
9. タスクが正常に完了したら、[閉じる] をクリックします。

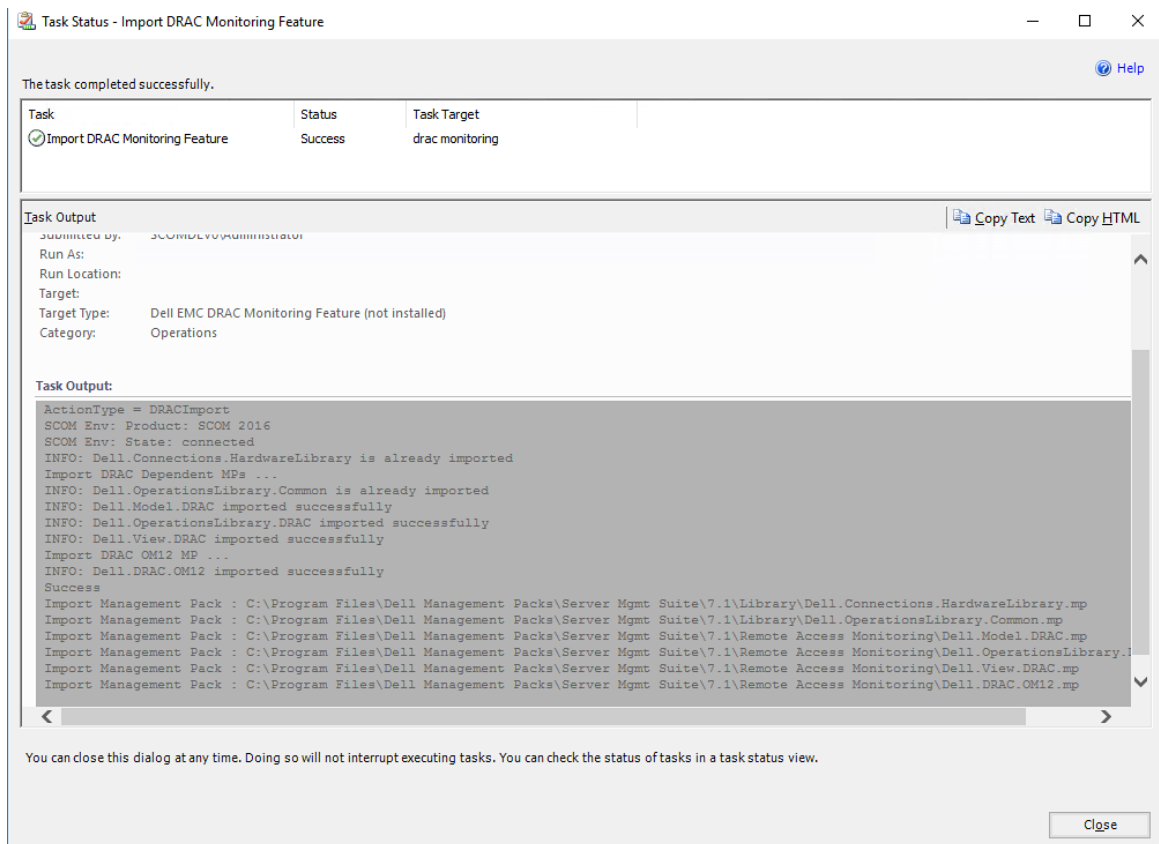



図 4. インポート モニタリング機能のタスクのステータス

10. 有効にするモニタリング機能ごとに、ステップ3~8を繰り返します。

タスクの結果

 **メモ:** [Dell Technologies Feature Management Dashboard] を使用して別のタスクを実行する前に、現在のタスクが完了するまで待ちます。


Dell EMC Feature Management Dashboard を使用したモニタリング機能のアップグレード

このタスクについて

DSMPS を使用して最新のモニタリング機能のメリットを得られるように、リリースのたびにモニタリング機能をアップグレードする必要があります。Feature Management Dashboard を使用してモニタリング機能をアップグレードするには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールを起動します。
2. [モニタリング] を選択します。
3. [Dell EMC] > [Dell EMC Feature Management Dashboard] を展開します。
4. アップグレードするモニタリング機能を選択します。
5. [タスク] ペインで、[Dell EMC モニタリング機能タスク] を展開し、アップグレードタスクを選択します。
6. [タスクの実行] アップグレード画面で、[事前定義された Run As アカウントの使用] オプションを選択します。
7. [実行] をクリックします。

 **注意:** データロスにつながるオーバーライドを行う必要がある依存性または関連付けがある場合、タスクを正常に実行できず、該当するメッセージが表示されます。タスクを続行するには、[オーバーライド] をクリックして、[警告/エラーの自動解決] のオーバーライドを [True] に設定します。

8. タスクを完了したら、[閉じる] をクリックします。

タスクの結果

アップグレードプロセス中は、すべてのオーバーライド（検出のカスタマイズ、ユニットのモニター、DSMPS の以前のバージョンのルール）は、DSMPS バージョン 7.1 以降に引き継がれます。

Feature Management Dashboard を使用したモニタリング視機能のカスタマイズ（拡張可能および詳細エディション）

表 13. Dell EMC Feature Management Dashboard を使用した DSMPS モニタリング機能のカスタマイズ - 拡張可能および詳細エディション

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
[Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング]	サーバーおよびコンポーネントグループレベルでのインベントリおよび正常性モニタリング	コンポーネント（メモリー、プロセッサ、センサー、ネットワークインターフェイス、ストレージコントローラー、ディスク、ボリューム）の詳細なインベントリおよびモニタリング。BIOS 情報も表示。
[DRAC モニタリング]	<ul style="list-style-type: none">● iDRAC インベントリ● iDRAC の正常性モニタリング	適用なし。


Dell EMC Feature Management Dashboard を使用したモニタリング機能の削除

このタスクについて


モニタリング機能を削除または無効にするには、[Dell EMC Feature Management Dashboard] を使用します。いずれかのモニタリング機能を削除する前に、開いているすべてのアラートを閉じるか解決します。モニタリング機能を削除する際に、[Dell EMC Feature Management Dashboard] は、すべてのオーバーライド参照をインストールフォルダーのバックアップとしてエクスポートします。ただし、カスタムグループ情報およびオーバーライドインスタンスレベル情報は将来再使用できません。

モニタリング機能を削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールを起動し、[モニタリング] を選択します。
2. [モニタリング] ペインで、[Dell EMC] > [Dell EMC Feature Management Dashboard.] を展開します。
[Dell EMC Feature Management Dashboard] ペインには、SCOM コンソールで現在使用可能なモニタリング機能のリストが表示されます。
3. 削除するモニタリング機能を選択します。
4. [タスク] ペインの下にある [Dell EMC モニタリング機能タスク] を展開します。
5. モニタリング機能を削除するには、[機能の削除] をクリックします。
たとえば、[Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング] 機能を削除するには、[タスク] ペインで [モニタリング機能の削除] をクリックします。
6. [タスクの実行 - 機能の削除] 画面で、[事前定義された Run As アカウントの使用] をクリックします。
7. [実行] をクリックします。
 **注意:** データロスにつながるオーバーライドを行う必要がある依存性または関連付けがある場合、タスクを正常に実行できません。タスクを続行するには、[オーバーライド] をクリックして、[警告/エラーの自動解決] のオーバーライドを [True] に設定します。
8. タスクを完了したら、[閉じる] をクリックします。

タスクの結果

-  **メモ:** カスタム グループまたはインスタンスで参照されるオーバーライドがある場合、[Dell EMC Feature Management Dashboard] で [モニタリング機能の削除] タスクを実行すると失敗することがあります。このような場合は、カスタム グループに関連付けられたオーバーライドまたはインスタンスを削除してください。

SCOM コンソールへの管理パックのインポート

このタスクについて



デバイスのモニタリングと管理のために DSMPS を効率的に使用するには、最新の管理パックがリリースされるたびに SCOM にインポートする必要があります。SCOM 向け Dell EMC Management Pack をインポートするには、次の手順を実行します。




手順

1. SCOM コンソールを起動します。
2. 左ペインで、[管理] を選択します。
3. [管理パック] をクリックして、[管理の概要] で [管理パックのインポート] を選択します。
4. [管理パックの選択] 画面で、[追加] > [ディスクから追加] とクリックします。
5. DSMPS をインストールした場所の詳細を入力するか、その場所に移動します。
デフォルトのディレクトリーにインストールすることを選択した場合、管理パックは C:\Program Files\Server Mgmt Suite\Dell Management Packs\7.2 にあります。
6. インポートする管理パックを選択し、[開く] をクリックします。
[管理パックのインポート] 画面が表示され、[インポート リスト] に管理パックのリストが表示されます。
7. [インストール] をクリックします。

検出されたデバイスの重要度レベル

SCOM コンソールで検出された Dell EMC デバイスの重要度レベルを示す記号。

-  - 正常/OK - コンポーネントは正常に動作しています。
-  - 重要/故障/エラー - コンポーネントが故障しているか、故障しそうな状態です。コンポーネントに対する迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ喪失が発生している可能性があります。

-  - 警告/非重要 - プローブまたはその他のモニタリング装置が、許容レベルを超えたまたは下回ったコンポーネントの読み取り値を検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。また、障害のある状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
-  - 正常性の状態は特定のコンポーネントに適用されません。
-  - サービスを使用できません。

OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびラック型ワークステーションの DSMPS モニタリングでサポートされている検出機能

- Dell EMC PowerEdge サーバー検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーを分類し、属性を入力します。
- Dell EMC PowerEdge サーバー ネットワーク インターフェイス検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーのグループレベルでネットワーク インターフェイスを検出します。
- Dell EMC PowerEdge サーバー ハードウェア コンポーネント検出 - グループレベル (センサー、プロセッサ、メモリー、PSU など) でハードウェア コンポーネントを検出します。
- Dell EMC OpenManage ソフトウェア サービス検出 - OMSA Windows サービスのオブジェクトを検出します。
- Dell EMC PowerEdge サーバーの詳細な BIOS 検出 - 各 Dell EMC PowerEdge サーバーの BIOS オブジェクトを検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell EMC PowerEdge サーバーの詳細なメモリー検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーのメモリー インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell EMC PowerEdge サーバーの詳細な PSU 検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーの PSU インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell EMC PowerEdge サーバーの詳細なプロセッサ検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーのプロセッサ インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell EMC PowerEdge サーバーの詳細なストレージ検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーの完全なストレージ階層を検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell Windows サーバーの詳細なセンサー検出 - Dell EMC PowerEdge サーバーのセンサー インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell Windows サーバーの詳細なネットワーク インターフェイス検出モジュール - Dell EMC PowerEdge サーバーの物理およびチャージされたネットワーク インターフェイス インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
- Dell Windows サーバー ネットワーク インターフェイス グループ検出モジュール - ネットワーク インターフェイス グループを検出します。
- Dell EMC ラック型ワークステーション グループ検出 - Dell EMC ラック型ワークステーション グループを検出します。
- Dell 管理対象外サーバー グループ検出 - Dell 機器がない、サポートされていない OMSA バージョンである、または必要なバージョンより前のバージョンの機器があるといういずれかの原因によりモニタリングされていない Dell EMC PowerEdge サーバーを検出します。

DRAC のモニタリング用に DSMPS でサポートされている検出機能

iDRAC 検出 - サポートされているすべての Integrated Dell Remote Access Controller を検出します。

Dell Integrated Remote Access モジュール検出 - モジュール システム用の Dell Integrated Remote Access Controller のシャシ名とシャシ サービス タグを検出します。

- iDRAC6 モジュール型検出 - iDRAC6 (モジュール型) グループを検出します。
- iDRAC6 モノリス型検出 - iDRAC6 (モノリス型) グループを検出します。
- iDRAC7 モジュール型検出 - iDRAC7 (モジュール型) グループを検出します。
- iDRAC7 モノリス型検出 - iDRAC7 (モノリス型) グループを検出します。
- iDRAC8 モジュール型検出 - iDRAC8 (モジュール型) グループを検出します。
- iDRAC8 モノリス型検出 - iDRAC8 (モノリス型) グループを検出します。

- Dell リモート アクセス グループ検出 - Dell リモート アクセス グループを検出し、iDRAC に入力します。
- Dell Integrated Remote Access モノリス型グループ検出 - Dell Integrated Remote Access モノリス型グループおよび iDRAC (モノリス型) を検出します。
- Dell Integrated Remote Access モジュール型グループ検出 - iDRAC (モジュール型) グループを検出して入力します。

DSMPS のさまざまなモニタリング機能によってモニタリングされるハードウェア コンポーネント

表 14. DSMPS モニタリング機能のモニタリング対象ハードウェア コンポーネント

監視対象ハードウェア コンポーネント	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワーク ステーションのモニタリング機能		iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワ ークステーションのモニタリング機能	
	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン
バッテリーセンサー	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
バッテリーセンサーグル ープ	いいえ	[はい]	[はい]	[はい]
BIOS 設定のユニット	いいえ	いいえ	-	-
BIOS ユニット	-	-	いいえ	いいえ
シャーシントルージョ ンセンサー	いいえ	[はい]	-	-
電流センサー	いいえ	[はい]	いいえ	いいえ
電流センサーグルー プ	いいえ	[はい]	いいえ	いいえ
ファンセンサー	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
ファンセンサーグル ープ	いいえ	[はい]	[はい]	[はい]
ホスト NIC	-	-	いいえ	[はい]
ホスト NIC グル ープ	-	-	[はい]	[はい]
iDRAC	[はい]	[はい]	いいえ	いいえ
iDRAC ライセンス	-	-	いいえ	[はい]
iDRAC ライセンスグル ープ	-	-	[はい]	[はい]
iDRAC ネットワークイ ンタフェース	-	-	[はい]	[はい]
イントルージョンセン サー	-	-	いいえ	[はい]
イントルージョンセン サーグループ	-	-	[はい]	[はい]
メモリ	[はい]	[はい]	-	-
メモリグル ープ	-	-	[はい]	[はい]
メモリユニ ット	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
ネットワークインタ フェース	-	-	いいえ	[はい]
ネットワークインタ フェースグル ープ	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]
ネットワークインタ フェース物理グル ープ	いいえ	[はい]	-	-

表 14. DSMPS モニタリング機能のモニタリング対象ハードウェア コンポーネント

監視対象ハードウェア コンポーネント	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワーク ステーションのモニタリング機能		iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワ ークステーションのモニタリング機能	
	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン
ネットワークインタフ ェースチーミンググル ープ	いいえ	[はい]	-	-
OpenManage Software サービス	[はい]	[はい]	-	-
PCIe SSD バックプレー ン	-	-	いいえ	[はい]
PCIe SSD エクステンダ	-	-	いいえ	[はい]
PCIeSSD 物理ディス ク	-	-	いいえ	[はい]
物理ネットワークイン タフェースのインスタ ンス	いいえ	[はい]	-	-
ネットワークインタフ ェースチーミンググル ープ	-	-	-	-
電源装置	[はい]	[はい]	-	-
電源装置グループ	-	-	[はい]	[はい]
電源供給ユニット	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
プロセッサグループ	-	-	[はい]	[はい]
プロセッサユニット	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
プロセッサ	[はい]	[はい]	-	-
SD カードグループ	-	-	[はい]	[はい]
SD カード	-	-	いいえ	[はい]
センサー	[はい]	[はい]	-	-
センサーグループ	-	-	[はい]	[はい]
保管時	[はい]	[はい]	-	-
ストレージコネクタ ーの内部/外部/直接接 続物理ディスクグル ープ	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコネクタ ーの内部/外部/直接接 続物理ディスクイン スタンス	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントロー ー	[はい]	[はい]	いいえ	[はい]
ストレージコントロー ラバッテリーグル ープ	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントロー ラバッテリー	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントロー ラコネクタユニット	いいえ	[はい]	-	-

表 14. DSMPS モニタリング機能のモニタリング対象ハードウェア コンポーネント

監視対象ハードウェア コンポーネント	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワーク ステーションのモニタリング機能		iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワ ークステーションのモニタリング機能	
	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン
ストレージコントローラ エンクロージャファン センサー	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントローラ エンクロージャファン センサーグループ	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントローラ エンクロージャのイン スタンス	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントローラ エンクロージャユニッ ト	いいえ	[はい]	-	-
ストレージコントローラ 物理ディスクグループ	いいえ	[はい]	-	-
ストレージコントローラ 物理ディスクユニット	いいえ	[はい]	-	-
ストレージコントローラ センサー	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
ストレージコントローラ 仮想ディスクグループ	いいえ	[はい]	-	-
ストレージエンクロージ ャ EMM ユニット	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
ストレージエンクロージ ャ物理ディスクグルー プ	いいえ	[はい]	-	-
ストレージエンクロージ ャ電源装置グループ	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
ストレージエンクロージ ャ電源装置	-	-	いいえ	[はい]
ストレージエンクロージ ャセンサー	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
ストレージエンクロージ ャ温度センサーグルー プ	-	-	いいえ	[はい]
ストレージエンクロー ジャ温度センサー	-	-	いいえ	[はい]
ストレージグループ	-	-	[はい]	[はい]
ストレージ仮想ディス ク	-	-	いいえ	[はい]
ストレージコントローラ 仮想ディスクグループ	-	-	いいえ	[はい]
チーミングされたネッ トワークインタフェース ユニット	いいえ	[はい]	いいえ	いいえ
温度センサー	-	-	いいえ	[はい]
温度センサーグループ	-	-	[はい]	[はい]

表 14. DSMPS モニタリング機能のモニタリング対象ハードウェア コンポーネント

監視対象ハードウェア コンポーネント	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワーク ステーションのモニタリング機能		iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワ ークステーションのモニタリング機能	
	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン	拡張可能エディシ ョン	詳細エディシ ョン
電圧センサー	いいえ	[はい]	いいえ	[はい]
電圧センサーグループ	いいえ	[はい]	[はい]	[はい]

DSMPS のモニタリング機能で提供されるビュー オプション

表 15. DSMPS のモニタリング機能で提供されるビュー オプション

ビュー タイプ	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサーバーお よびラック型ワークステー ションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバー およびラック型ワークステー ションのモニタリング機能	DRAC モニタリング
アラート ビュー	[はい]	[はい]	[はい]
ダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	[はい]
パフォーマンスおよび電源モ ニタリング ビュー	[はい]	[はい]	いいえ
状態ビュー	[はい]	[はい]	[はい]

DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示されるアラート ビュー

表 16. DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示されるアラート ビュー

SCOM コンソールに表示さ れるアラート ビュータイプ	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサー バーおよびラック型ワー クステーションのモニ タリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーお よびラック型ワークステー ションのモニタリング機能	DRAC モニタリング
Dell EMC ネットワーク イン ターフェイス アラート ビ ュー	[はい]	[はい]	いいえ
Dell EMC サーバーおよびラ ック型ワークステーション のアラート ビュー	[はい]	[はい]	いいえ
Dell EMC ネットワークイン タフェースアラート	[はい]	[はい]	いいえ
Dell EMC ラック型ワークス テーションアラート	[はい]	[はい]	いいえ
PET トラップ	いいえ	いいえ	[はい]
リモート アクセス アラート	いいえ	いいえ	[はい]

DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって表示されるダイアグラムビュー

表 17. DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって表示されるダイアグラムビュー

SCOM コンソールに表示されるダイアグラムビューのタイプ	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	DRAC モニタリング
完全ダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	[はい]
ラック型ワークステーションダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	いいえ
モジュラー型サーバーダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	いいえ
モノリス型サーバーダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	いいえ
スレッドサーバーダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	いいえ
ユニットダイアグラムビュー	[はい]	[はい]	いいえ
Remote Access Controller グループダイアグラムビュー	いいえ	いいえ	[はい]

DSMPS でサポートされている完全ダイアグラムビュー

Dell EMC 完全ダイアグラムビューには、SCOM コンソールでモニタリングされているすべての Dell EMC デバイスが図示されます。図では、個々のデバイスとそのコンポーネントのステータスを展開して確認できます。

DSMPS のモニタリング機能によって表示される完全ダイアグラムビューには、次の情報が含まれています。

- Dell EMC モジュラー型およびモノリス型サーバー
- Dell EMC Sled グループ
- Dell EMC ラック型ワークステーショングループ
- Dell EMC ラック型ワークステーション (iSM-WMI を使用した DSMPS モニタリング機能)
- Remote Access Controller
- Dell EMC 管理対象外システム

DSMPS でサポートされるラック型ワークステーションダイアグラムビュー

Dell EMC ラック型ワークステーションダイアグラムビューでは、サポートしているすべての Dell EMC ラック型ワークステーションが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやそのコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内のラック型ワークステーションを選択して、[詳細ビュー] セクションに詳細を表示します。

モジュラー型およびモノリス型システムのダイアグラムビューに表示されるコンポーネントデータ

Dell EMC モジュラー型システムダイアグラムビューと Dell EMC モノリス型サーバーダイアグラムビューには、次のコンポーネントの情報が表示されます。

表 18. モジュラー型およびモノリス型システムのダイアグラムビューに表示されるコンポーネントデータ

表 18. モジュラー型およびモノリス型システムのダイアグラム ビューに表示されるコンポーネント データ

モジュラー型およびモノリス型ダイアグラム ビューに表示されるコンポーネント データ	DSMPS モニタリング機能	
	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能
物理ネットワークインタフェース	いいえ	[はい]
メモリ	いいえ	[はい]
PSU	いいえ	[はい]
センサー	いいえ	[はい]
プロセッサ	いいえ	[はい]
ストレージ コンポーネント	いいえ	[はい]
BIOS (インベントリーのみ)	いいえ	[はい]
BIOS	[はい]	いいえ
iDRAC NIC	いいえ	[はい]
ホスト NIC	いいえ	[はい]
SD カード	いいえ	[はい]
ネットワークインタフェースグループ	[はい]	いいえ
ライセンス	いいえ	[はい]
メモリグループ	[はい]	いいえ
PSU グループ	[はい]	いいえ
センサー グループ	[はい]	いいえ
プロセッサグループ	[はい]	いいえ
ストレージ コンポーネント グループ	[はい]	いいえ
ホスト NIC グループ	[はい]	いいえ
iDRAC	[はい]	いいえ
iDRAC ライセンスグループ	[はい]	いいえ
PCIe/SSD グループ	いいえ	いいえ
SD カードグループ	[はい]	いいえ

DSMPS でサポートされているモジュラー型システム ダイアグラム ビュー

モジュラー型システム ダイアグラム ビューでは、すべての Dell EMC モジュラー型システムが図示されます。ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

DSMPS でサポートされているモノリス型サーバー ダイアグラム ビュー

Dell EMC モノリス型サーバー ダイアグラム ビューでは、すべてのモノリス型システムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

DSMPS でサポートされているスレッド サーバー ダイアグラム ビュー

Dell EMC スレッド サーバー ダイアグラム ビューでは、すべてのスレッド サーバーが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内のスレッド サーバーを選択して、[詳細ビュー] セクションに詳細を表示します。

DSMPS でサポートされている PowerEdge サーバー ユニット ダイアグラム ビュー

Dell EMC モジュラー型システム ビューまたは Dell EMC モノリス型サーバー ダイアグラム ビューから Dell EMC PowerEdge サーバーを選択し、その特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。システム固有の図は、DSMPS モニタリング機能によってサポートされているコンポーネントのステータスを示します。

DSMPS でサポートされている Remote Access Controller グループ ダイアグラム ビュー

Remote Access Controller グループ ダイアグラムビューには、すべての iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスが図示されます。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、[詳細ビュー] セクションに詳細を表示します。

ストレージ コントローラーのコンポーネント階層

ハードドライブ、コネクタ、VD、コントローラー、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントのステータスと正常性を表示するには、任意の Dell EMC システム インスタンス ダイアグラム ビューで [ストレージ] コンポーネントを展開します。

ネットワーク インターフェイスのコンポーネント階層

Dell EMC ネットワーク インターフェイス グループは、インテルまたは Broadcom ネットワーク インターフェイス カードが存在し、Dell EMC PowerEdge サーバーで有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワーク インターフェイスは、[物理インターフェイス] と [チューニングされたインターフェイス] にグループ化されます。ネットワーク インターフェイスを無効にすると、次の検出サイクルでネットワーク インターフェイスグループが管理から削除されます。チューニングされたネットワーク インターフェイスと、それに関連する物理ネットワーク インターフェイスの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、[Dell EMC Windows Server の物理およびチューニング関係検出] の [相関関係の有効化] 属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細については、[OMSA を使用して DSMPS によりモニタリングされている PowerEdge サーバーでの Windows ベース サーバー物理インターフェイスおよびチューニングされたインターフェイス間の相関関係の有効化](#)、p. 51 を参照してください。

OMSA を使用して DSMPS によりモニタリングされている PowerEdge サーバーでの Windows ベース サーバー物理インターフェイスおよびチューニングされたインターフェイス間の相関関係の有効化

手順

1. SCOM コンソールを起動します。
2. 左ペインで、[オーサリング] を選択します。
3. 左ペインで、[管理パック オブジェクト] を選択し、[オブジェクトの検出] をダブルクリックします。
4. 作業中のペインで、「**Dell Windows Server の物理およびチューニング関係検出ルール**」を検索します。
5. 右クリックして、[上書き] > [オブジェクト検出の上書き] クラスの全オブジェクト：チューニングされたネットワーク インターフェイス インスタンス (エンリッチ) の順にクリックします。
6. [プロパティの上書き] ダイアログ ボックスで、次の操作を実行します。
 - a. [相関関係の有効化] 行で、上書き値を True に設定します。
 - b. [OK] をクリックします。

タスクの結果

ダイアグラム ビューにあるネットワーク インターフェイスのステータス ロールアップは、ネットワーク インターフェイス グループ レベルまでのみが表示されます。たとえば、サーバーの残りのコンポーネントが正常であり、1つまたは複数のネットワーク インターフェイスのみが重要または非重要状態の場合、サーバーの正常性状態は [正常] と表示されますが、ネットワーク インターフェイス グループのステータスは [重要] または [警告] として示されます。

OMSA を使用した DSMPS によりモニタリングされている PowerEdge サーバーでのロールアップ正常性ステータスの有効化

このタスクについて

サーバー レベルでのステータス ロールアップを表示するには、次の手順に従って、[ネットワーク インターフェイス グループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ] 依存性モニターを有効化する必要があります。

手順

1. SCOM コンソールを起動します。
2. 左ペインで、[オーサリング] を選択します。
3. そのペインで、[管理パック オブジェクト] > [モニター] をクリックします。
4. 作業中のペインで、「ネットワーク インターフェイス グループ」を検索して、機能を有効にするサーバーを検索します。
5. その機能を有効にできるサーバー タイプのリストが表示されます。たとえば、Dell Windows Server などです。
6. [Dell Windows Server] で、[エンティティ正常性] > [可用性] を展開します。
7. [ネットワーク インターフェイス グループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ] を右クリックし、[上書き] > [モニターの上書き] > [クラスの全オブジェクト : Dell Windows Server] の順に選択します。
8. [プロパティの上書き] ダイアログ ボックスで、次の操作を実行します。
 - a. [有効] 行で、上書き値を True に設定します。
 - b. [管理パック] セクションで、ドロップダウン リストから管理パックを選択します。
9. [適用] をクリックします。

タスクの結果

特定のモニタリング機能によってモニタリングされている PowerEdge サーバーでは、サーバー ロールアップ正常性ステータスが有効になります。

DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー

表 19. DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー

SCOM コンソールに表示される状態ビュー タイプ	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	DRAC モニタリング
サーバーおよびラック型ワークステーションの状態ビュー	[はい]	いいえ	いいえ
管理対象ラック型ワークステーションの状態ビュー	[はい]	いいえ	いいえ
FM サーバーの状態ビュー	[はい]	いいえ	いいえ
スレッド サーバーの状態ビュー	[はい]	いいえ	いいえ
サーバー (iSM) の状態ビュー	いいえ	[はい]	いいえ
スレッド サーバー (iSM) の状態ビュー	いいえ	[はい]	いいえ
DRAC 状態ビュー	いいえ	いいえ	[はい]
サーバーおよびラック型ワークステーション(ライセンス対象)の状態ビュー	いいえ	いいえ	いいえ

表 19. DSMPS のさまざまなモニタリング機能で表示される状態ビュー

SCOM コンソールに表示される状態ビュータイプ	DSMPS モニタリング機能		
	OMSA を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	iSM-WMI を使用したサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能	DRAC モニタリング
管理対象ワークステーション(ライセンス対象)の状態ビュー	いいえ	いいえ	いいえ
スレッドサーバー(ライセンス対象)の状態ビュー	いいえ	いいえ	いいえ
管理対象外サーバー(ライセンス対象)の状態ビュー	いいえ	いいえ	いいえ

iSM-WMI を使用した DSMPS の主な PowerEdge サーバーモニタリング機能

iDRAC9 PowerEdge サーバーのシステム設定ロックダウンモード

システム設定ロックダウンモード機能は、iSM-WMI 方式の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を使用して検出されたサーバーで使用できます。この機能は、ファームウェアのアップデートを含め、システムの設定をロックする iDRAC9 ベースの PowerEdge サーバーで使用できます。システム設定ロックダウンモードが有効にされると、

- システムの設定を変更することはできません。この機能は、システムが誤って変更されないようにするためのものです。iDRAC コンソールを使用して、システム設定ロックダウンモードを有効または無効にできます。
- サーバーでトラップ送信先情報を設定することはできません。したがって、アラートはモニタリング用に生成されません。このような場合は、システム設定ロックダウンモードが有効になっていること、およびアラートのトラップ送信先情報が設定されていないことを示す重大なアラートが通知されます。

① **メモ:** デル・テクノロジーズでは、サーバー検出間隔を更新または変更した直後に、「Dell OM: システム設定ロックダウンアラートルール間隔」を更新することをお勧めします。これにより、一定の間隔でサーバー検出が完了した後に、システムロックダウンモードのアラートが生成されるようになります。

システム設定ロックダウンモードの情報は、Dell EMC ダイアグラムビューの [詳細ビュー] ペインで表示できます。この機能の詳細については、サポートサイトで入手可能な『iDRAC9 バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド』を参照してください。

iDRAC9 PowerEdge サーバーの iDRAC グループマネージャー

iDRAC グループマネージャー機能は、iSM-WMI 方式の Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能を使用して検出されたサーバーで使用できます。iDRAC グループマネージャー機能は、iDRAC9 ベースの PowerEdge サーバーで利用でき、同じローカルネットワーク上の iDRAC およびその関連サーバーの基本的な管理を簡素化します。グループマネージャー機能により、別のアプリケーションを使用せずに一対多のコンソールを使用できるようになります。iDRAC グループマネージャーを使用して、サーバー障害の目視検査などの手動方式よりも強力な管理が可能になり、ユーザーは一連のサーバーの情報を確認することができます。

ダイアグラムビューの [詳細ビュー] ペインで、iDRAC オブジェクトの下にある iDRAC グループマネージャー、iDRAC グループマネージャーのステータス、および iDRAC グループ名の情報を表示できます。この機能の詳細については、サポートサイトで入手可能な『iDRAC9 バージョン 3.00.00.00 ユーザーズガイド』を参照してください。

iDRAC および iSM から検出された PowerEdge サーバーの容量計画

Dell サーバー容量チェックのユニットモニターを使用して、サーバーの使用率が設定された容量しきい値を超えたかどうかをモニタリングできます。Dell サーバー容量チェックのユニットモニターでは、各サーバーの最後の1日のシステムまたは CUPS の平均使用率が、設定されている容量しきい値と比較してモニタリングされます。このユニットモニタリングはデフォルトでは無効になっています。Dell サーバー容量チェックのユニットモニターを有効にする方法については、パフォーマンスおよび電源のモニタリングユニットモニターの有効化、p. 14 を参照してください。

最小しきい値は1で、最大しきい値は99です。デフォルトのしきい値は60です。しきい値は、1~99の範囲内で設定できます。指定した範囲以外のしきい値を指定すると、そのしきい値はデフォルト値にリセットされます。

最後の1日のシステムまたは CUPS の平均使用率が設定されたしきい値を超えると、サーバごとに警告イベントが生成されます。最後の1日のシステムまたは CUPS の平均使用率が設定されたしきい値内に戻ると、警告イベントが自動的に解決されます。

警告アラートの詳細は、[モニタリング] 下の [アラート詳細] ペインで確認できます。

iDRAC および iSM から検出された PowerEdge サーバーのポート接続情報

 **メモ:** この機能は、iDRAC9 ベースの PowerEdge サーバーでのみサポートされています。

サーバーポート接続情報機能では、スイッチポートからサーバーポートへの物理マッピング、および iDRAC 専用ポート接続の情報が提供されます。この機能を使用すると、サーバーのネットワークポートに接続されているスイッチポートと iDRAC 専用ポートを特定することで、ケーブルエラーのデバッグを減らすことができます。Dell EMC ダイアグラムビューの [詳細ビュー] ペインで、iDRAC NIC および NIC オブジェクト下のサーバーポート接続に関する情報を表示することができます。各 NIC のインベントリ情報とともに、スイッチのシャーシ ID 情報とポート ID 情報が入力されます。この機能は、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出された Dell EMC PowerEdge サーバーで使用できます。

DSMPS ユニットのモニター

ユニットモニターは、パフォーマンスカウンターを2サイクル連続して監視し、しきい値を超えているかどうかを確認します。しきい値を超えると、Dell EMC PowerEdge サーバーの状態が変わり、アラートが生成されます。このユニットモニターはデフォルトで無効になっています。SCOM コンソールの [オーサリング] ペインのしきい値を上書き (有効化) できます。ユニットモニターは、Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションモニタリング機能の Dell Windows Server オブジェクトで使用できます。ユニットモニターのしきい値を有効にするには、[パフォーマンスおよび電源のモニタリングユニットモニターの有効化](#)、p. 14 を参照してください。Dell ユニットモニターはモニタリング対象のオブジェクトで発生するさまざまな状況を評価します。この評価の結果が、対象の正常性状態を決定します。

Dell ユニットモニターには以下が含まれます。

- イベントモニター - Dell 機器が Windows イベント ログに記録するイベントによってトリガーされ、対応するオブジェクトの正常性が示されます。
- 定期モニター - 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガーされます。

OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびワークステーション向けの DSMPS モニタリング機能の拡張可能エディションユニットモニター

OMSA を使用して、DSMPS モニタリング機能で提供される次のすべてのユニットモニターは、[定期] タイプです。

メモリ

- Dell EMC サーバメモリステータス
- Dell EMC サーバメモリ冗長ステータス

OpenManage Software サービス

- Dell EMC Server Management (DSM) 接続サービス可用性ステータス
- DSM Data Manager 可用性ステータス
- DSM Event Manager 可用性ステータス
- DSM Shared Service 可用性ステータス
- DSM Storage Service 可用性ステータス
- Windows Management Instrumentation (WMI) サービス可用性ステータス

電源装置

- Dell EMC サーバ電源装置ステータス

プロセッサ

- Dell EMC サーバプロセッサステータス

センサー

- Dell EMC サーババッテリー状態
- Dell EMC サーバの現在のステータス
- Dell EMC サーバファン状態
- Dell EMC サーバインテリジェントセンサーステータス
- Dell EMC サーバ温度センサーステータス
- Dell EMC サーバ電圧センサーステータス

ストレージコントローラー

- ストレージコントローラステータス

ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)

- グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス

ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)

- グローバルエンリッチネットワークインタフェースステータス
- グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス

iDRAC

- Dell サーバ iDRAC ネットワーク インターフェイス モニター

Dell OM パフォーマンス

- 周囲温度の平均しきい値アラート モニター
- アンペア数の平均しきい値アラート モニター
- エネルギー消費量の平均しきい値アラート モニター
- 消費電力 (BTU/時間) の平均しきい値
- 消費電力 (ワット) の平均しきい値アラート モニター
- Dell Om サーバ非対応ユニット モニター

OMSA を使用した PowerEdge サーバおよびワークステーション用の DSMPS のモニタリング機能の詳細エディションのユニット モニター

OMSA を使用して、DSMPS モニタリング機能で提供される次のすべてのユニット モニターは、[定期] タイプです。

メモリユニット

- 詳細メモリー イベント モニター
- 詳細メモリー ユニット モニター

電源装置ユニット

- 電源装置詳細

プロセッサユニット

- プロセッサ詳細

ストレージコントローラコネクタユニット

- コントローラコネクタ イベント モニター
- コントローラコネクタ ユニット モニター

ストレージコントローラ EMM ユニット

- エンクロージャ EMM イベント モニター
- エンクロージャ EMM ユニット モニター

ストレージコントローラエンクロージャユニット

- コントローラエンクロージャ イベント モニター
- コントローラエンクロージャ ユニット モニター

ストレージコントローラ物理ディスクユニット

- コントローラ物理ディスク イベント モニター
- コントローラ物理ディスク ユニット モニター

- エンクロージャ物理ディスク イベント モニター
- エンクロージャ物理ディスク ユニット モニター

ストレージ コントローラー電源供給ユニット

- エンクロージャ電源供給 イベント モニター
- エンクロージャ電源供給ユニット モニター

ストレージコントローラセンサー

- コントローラー センサー イベント ユニット モニター
- コントローラー センサー ユニット モニター

ストレージコントローラ仮想ディスクグループ

ストレージコントローラ仮想ディスクユニット

- コントローラー仮想ディスク イベント モニター
- コントローラー仮想ディスク ユニット モニター

ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ

ストレージエンクロージャセンサー

- エンクロージャ ファン イベント ユニット モニター
- エンクロージャ ファン ユニット モニター
- エンクロージャ温度 イベント モニター
- エンクロージャ温度 ユニット モニター

物理ネットワークインタフェースユニット (ベーシック)

- 接続ステータス

物理ネットワークインタフェースユニット (エンリッチ)

- 管理状態
- 接続ステータス
- リンクステータス
- 動作ステータス

チーミングされたネットワークインタフェースユニット (ベーシック)

- チーミングされたネットワークインタフェース (ベーシック) 可用性ステータス

チーミングされたネットワークインタフェースユニット (エンリッチ)

- チーミングされたネットワークインタフェースユニット (エンリッチ) 管理ステータス
- チーミングされたネットワークインタフェースユニット (エンリッチ) 接続ステータス
- チーミングされたネットワークインタフェースユニット (エンリッチ) リンクステータス
- チーミングされたネットワークインタフェースユニット (エンリッチ) 動作ステータス
- チーミングされたネットワークインタフェースユニット (エンリッチ) 冗長ステータス

ファンセンサー

- ファン センサー ユニット モニター

電流センサー

- 電流センサー ユニット モニター

電圧センサー

- 電圧センサー ユニット モニター

バッテリー センサー

- バッテリー センサー ユニット モニター

シャーシイントルージョンセンサー

- シャーシ イントルージョン センサー ユニット モニター

DRAC 用 DSMPS のモニタリング機能でのユニット モニター

DRAC モニタリング用に DSMPS によって提供される次のすべてのユニット モニターは、[定期的] タイプです。

- iDRAC6 Modular
 - Dell Remote Access ステータス
- iDRAC6 モノリス型
 - Dell Remote Access ステータス
- iDRAC7 モジュラー型
 - ① **メモ:** iDRAC7 モジュラー型およびモノリス型サーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガー ベースのユニットモニターは無効になっています。
 - Dell Remote Access ステータス
 - コントローラグローバルステータス
 - コントローラグローバルストレージステータス
- iDRAC7 モノリス型
 - Dell Remote Access ステータス
 - コントローラグローバルステータス
 - コントローラグローバルストレージステータス
- iDRAC8 モジュラー型
 - ① **メモ:** iDRAC8 モジュラー型およびモノリス型サーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガー ベースのユニットモニターは無効になっています。
 - Dell Remote Access ステータス
 - コントローラグローバルステータス
 - コントローラグローバルストレージステータス
- iDRAC8 モノリス型
 - Dell Remote Access ステータス
 - コントローラグローバルステータス
 - コントローラグローバルストレージステータス

DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって使用されるイベントルール

SCOM コンソールを使用するデータセンター管理者は、システムで実行されているルールやモニターについて把握しておく必要がある場合があります。DSMPS のさまざまなモニタリング機能によって使用されるイベントルールによって、関連するイベントルールの情報が管理者に提供されます。

OMSA を使用した PowerEdge サーバーおよびワークステーションのモニタリング機能によって処理されるイベントルール

DSMPS は、OMSA および OMSA ストレージ管理イベントからのルールを処理します。

[Server Administrator]

OMSA の情報、警告、および重要イベントにはすべて、対応するイベント処理ルールがあります。これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムイベントログ

[ストレージ管理]

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重要イベントには、対応するイベント処理ルールがあります。これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダー = Windows システムイベントログ

iSM-WMI を使用した PowerEdge サーバーおよびワークステーションのモニタリング機能によって処理されるイベントルール


次の項には、iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能に固有のルールがリストされています。

- Dell システム イベント処理ルール - DSMPS は、Dell EMC PowerEdge サーバーからのルールを処理します。
- iSM-WMI を使用した Dell EMC PowerEdge サーバー - この機能を使用して検出された Dell EMC PowerEdge サーバーに関するすべての情報、警告、および重要なイベントには、対応するイベントルールがあります。これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。
 - ソース名 = 「Lifecycle Controller ログ」
 - イベント番号 = イベントの実際のイベント ID
 - データプロバイダ = Windows システムイベントログ

DRAC 向け DSMPS のモニタリング機能によって処理されるイベントルール

DRAC デバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「DRAC/CMC 名または IP」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

 **メモ:** 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受信するには、情報アラート管理パックをインストールします。

トラブルシューティング

トピック：

- Feature Management Dashboard にデータが表示されない
- Feature Management Dashboard で実行されたタスクの失敗
- 機能管理アラート
- 管理サーバー (MS) が機能していないため、関連付けられているタスクを完了できない (Feature Management Host Server の正常性サービスが機能していない)

Feature Management Dashboard にデータが表示されない

このタスクについて

分散型セットアップでは、Dell EMC Server Management Pack が最初にインストールされた管理サーバーが、検出、アラートおよびタスクなどのすべての機能管理アクティビティをホストするために選択されます。Server Management Pack が最初にインストールされた管理サーバーが、Feature Management Dashboard にデータを自動入力します。ただし、管理サーバーでインストーラーを実行せずに Feature Monitoring Management Pack を手動でインポートした場合、Feature Management Pack ホストは選択されません。したがって、Feature Management Dashboard にデータは表示されません。

Feature Management Dashboard にデータを表示させるには、次の手順を実行します。


手順

1. SCOM コンソールで、[オーサリング] をクリックします。
2. [オーサリング] セクションで、[管理パック オブジェクト] を展開します。
3. [オブジェクトの検出] をクリックします。
4. [検索対象] ボックスで、「**Dell Feature Management ホスト検出**」を検索します。
5. [Dell Feature Management ホスト検出] を右クリックして、[上書き] > [オブジェクト検出の上書き] > [クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出] の順に選択します。
6. 機能管理アクティビティを実行するには、[FmpHostFqdn] を選択します。
7. 管理サーバーの FQDN に上書き値を設定します。

Feature Management Dashboard で実行されたタスクの失敗

このタスクについて

Feature Management Dashboard でアップグレードタスクを実行すると、データロスの原因となる場合があります。たとえば、変更中のモニタリング機能に何らかの依存関係または関連付けが存在する場合、メッセージが表示されてアップグレードタスクが失敗します。

 **注意:** タスクのパラメータを上書きすると、管理パックまたは動作データが失われる場合があります。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールを起動して、[モニタリング] をクリックします。
2. [モニタリング] ペインで、[Dell EMC] > [Feature Management Dashboard] を参照します。

Feature Management Dashboard に、SCOM 内の管理パック リストとアップグレード可能な管理パック バージョンが表示されま
す。

3. モニタリング機能を選択します。
4. [タスク] で、[Dell モニタリング機能タスク] を展開します。
5. モニタリングのアップグレード タスクをクリックします。
6. [タスクの実行 — モニタリング機能のアップグレード] 画面で、[上書き] をクリックします。
オーバーライド タスクのパラメーターが表示されます。
7. [新しい値] 列のドロップダウン メニューで、[警告/エラーの自動解決] プロパティを [True] に変更します。
8. [上書き] をクリックします。
9. タスクを実行するには、[実行] をクリックします。

機能管理アラート

表 20. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決方法
Dell FMP : Dell Device Helper ユーティリティが存在していないか、または Dell EMC サーバーおよびラック モニタリング (ライセンス対象) 管理パックとの互換性がありません。	重要	<ul style="list-style-type: none"> 必要な Dell Device Helper Utility バージョンが見つからなかった、または Dell Device Helper Utility が破損しています。 必要な Dell Device Helper Utility バージョンよりも新しいバージョンが検出されました。 必要な Dell Device Helper Utility バージョンよりも前のバージョンが検出されました。 	管理サーバ上で Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.1 インストーラを実行してください。インストーラの [修復] オプションを使用してください。DSMPS のインストールに関する問題の修復、p. 10 を参照してください。

管理サーバー (MS) が機能していないため、関連付けられているタスクを完了できない (Feature Management Host Server の正常性サービスが機能していない)

このタスクについて

分散型セットアップでは、Dell EMC Server Management Pack が最初にインストールされた管理サーバーが、検出、アラート、およびタスクなどのすべての機能管理アクティビティをホストするために選択されます。選択した管理サーバが機能を停止した場合、実行された機能管理タスクは失敗し、Dell EMC Feature Management Dashboard にデータが自動入力されません。選択した管理サーバが破損しているか、または正常性サービスが取得されていない場合は、管理サーバを廃棄して古いオブジェクトを削除します。詳細については、[https://docs.microsoft.com/en-us/previous-versions/system-center/system-center-2012-R2/hh456439\(v=sc.12\)?redirectedfrom=MSDN](https://docs.microsoft.com/en-us/previous-versions/system-center/system-center-2012-R2/hh456439(v=sc.12)?redirectedfrom=MSDN) を参照してください。

Dell EMC Feature Management Dashboard でデータの自動入力を行うには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールで、[オーサリング] をクリックします。
2. [オーサリング] セクションで、[管理パック オブジェクト] を展開します。
3. [オブジェクトの検出] をクリックします。
4. [検索対象] ボックスで、「**Dell Feature Management ホスト検出**」を検索します。
5. [Dell Feature Management ホスト検出] を右クリックして、[上書き] > [オブジェクト検出の上書き] > [クラスのすべてのオブジェクト : Dell Feature Management ホスト検出] の順に選択します。
6. [FmpHostFqdn] を選択し、上書き値を Feature Management のアクティビティが実行される必要がある管理サーバーの FQDN に設定します。

追加リソース

表 21. 追加リソース

文書	説明	入手先
『System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration with Microsoft System Center ユーザーズガイド』	OMIMSSC アプライアンスの導入、設定、使用、トラブルシューティングに関する情報が記載されています。	1. Dell.com/esmmanuals にアクセスします。 2. [Microsoft System Center Operations Manager 向け Server Management Pack バージョン] を選択し、必要なアプリケーション バージョンを選択します。
『Dell EMC OpenManage Integration with Microsoft System Center - Operations Manager リリース ノート』	OMIMSSC および DSMPS の新機能、既知の問題、および回避策に関する情報が記載されています。	3. [マニュアル] タブを選択して、以下のドキュメントにアクセスします。
『System Center Operations Manager 向け OpenManage Integration with Microsoft System Center の拡張性』テクニカル ホワイト ペーパー	OMIMSSC 環境にプロキシ管理サーバーを追加してモニタリング機能を拡張する方法について説明します。	

Dell EMC サポート サイトからのサポート コンテンツへのアクセス

直接リンクを使用して Dell EMC サポート サイトに移動するか、検索エンジンを使用して、一連のシステム管理ツールに関連するサポート コンテンツにアクセスします。

- 直接リンク：
 - Dell EMC エンタープライズ システム管理および Dell EMC リモート エンタープライズ システム管理：<https://www.dell.com/esmmanuals>
 - Dell EMC 仮想化ソリューション：<https://www.dell.com/SoftwareManuals>
 - Dell EMC OpenManage：<https://www.dell.com/openmanagemanuals>
 - iDRAC：<https://www.dell.com/idracmanuals>
 - Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズ システム管理：<https://www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement>
 - Dell EMC Serviceability Tools：<https://www.dell.com/serviceabilitytools>
- Dell EMC サポート サイト：
 1. <https://www.dell.com/support> にアクセスします。
 2. [すべての製品の参照] をクリックします。
 3. [すべての製品] ページで [ソフトウェア] をクリックして、次に必要なリンクをクリックします。
 4. 必要な製品をクリックして、必要なバージョンをクリックします。

検索エンジンを使用する場合は、検索ボックスにドキュメントの名前とバージョンを入力します。

デル・テクノロジーズへのお問い合わせ

このタスクについて

デル・テクノロジーズでは、オンラインおよび電話によるサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国または地域、および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

① メモ: アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル・テクノロジーズ製品カタログで連絡先をご確認いただけます。

デル・テクノロジーズのセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. Dell.com/support にアクセスします。
2. ページの右下で、リストから希望の国または地域を選択します。
3. [サポートへのお問い合わせ] をクリックして、該当するサポート リンクを選択します。

用語集

表 22. 本ガイドで使用される用語

用語	説明
AMSRP	All Management Server Resource Pool
CMC/OME-M	Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise - モジュール
DSMPS	Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite
DRAC/iDRAC	特別に指定がある場合を除き、Dell EMC PowerEdge サーバー、Dell ブランド OEM サーバー、および Dell OEM Ready サーバーの Dell Remote Access Controller/integrated Dell Remote Access Controller。
Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング	これはライセンス不要の機能です。この機能は、PowerEdge サーバー、PowerVault モノリス型システム、PowerVault モジュール型システム、Dell EMC ブランドまたは Dell EMC OEM Ready サーバー、およびデータセンターでサポート対象の OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用してサポートされている Windows オペレーティングシステムを実行している対応 Dell Precision ラックの検出とモニタリングを行うために、OMIMSSC で提供されています。
FMD	Dell EMC Feature Management Dashboard
iSM	iDRAC サービス モジュールは、サーバー上で実行される軽量ソフトウェアであり、オペレーティングシステムからのモニタリング情報を使用して iDRAC を補完します。iSM とサポート対象プラットフォームの詳細については、 Dell.com/support の「iDRAC サービス モジュール インストール ガイド」を参照してください。
MS	管理サーバー
MP	管理バック
OMIMSSC	Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration
PowerEdge サーバー	これはモニタリング機能です。この機能は、PowerEdge サーバー、PowerVault モノリス型システム、PowerVault モジュール型システム、Dell EMC ブランドまたは Dell EMC OEM Ready サーバー、およびデータセンターでサポート対象の OpenManage Server Administrator (OMSA) を使用してサポートされている Windows オペレーティングシステムを実行している対応 Dell Precision ラックの検出と管理を行うために、DSMPS で提供されています。
SCOM	Operations Manager 向け Microsoft System Center。
VM	仮想マシン

追加トピック

トピック：

- 識別 LED を使用したデバイスおよびデバイス電源ステータスの識別
- Microsoft SCOM 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からの移行
- トラップとトラップベースのユニット モニターをモニタリングするための SCOM の設定
- SNMP モニタリングのための Run As アカウントの作成
- 複数の Run As アカウントの関連付け
- Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイス テンプレートのインストール
- Run As アカウントの関連付けタスク - Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能

識別 LED を使用したデバイスおよびデバイス電源ステータスの識別

このタスクについて

アドバンス電源制御と LED 識別タスクは、デフォルトの BMC 認証情報とインストール パス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) を使用します。システムでデフォルトの BMC 認証情報とインストール パスが使用されていない場合は、管理サーバーに BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソール タスクを作成します。

① メモ: 次の手順では、タスクを作成し、パスワードをプレーン テキストで設定します。BMC が管理サーバーにインストールされていない場合は、SCOM コンソールのダイアログ ボックスにコマンド全体とエラーが表示され、パスワードが表示される場合があります。このタスクが含まれる作成したオーバーライド管理パックをドライブにエクスポートする場合は、次の手順を実行します。

- エクスポートされた管理パックを通常のテキスト エディターで開きます。
- SCOM コンソールの [オーサリング] セクションで、パスワードをプレーン テキストで表示します。

② メモ: 必要な場合にのみタスクを作成し、セキュリティ面を考慮してから次に進みます。

LED のステータスを管理するタスクを作成して、デバイスの電源ステータスを識別するには、次の手順を実行します。

手順

1. SCOM コンソールの左ペインで、[オーサリング] をクリックします。
2. [管理パック オブジェクト] で [タスク] を右クリックし、[新規タスクの作成] を選択します。
3. [タスク タイプの選択] ダイアログ ボックスで、次の手順を実行します。
 - a. [作成するタスク タイプの選択] セクションで、[コマンド ライン] を選択します。
 - b. ターゲット管理パックを選択します。
 - c. [次へ] をクリックします。
 - d. タスク名と説明を入力します。
タスク ターゲットを選択するには、[選択] をクリックしてから、[アイテムをターゲットに選択] ダイアログ ボックスから選択します。この場合は、サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能用の Dell Windows サーバーを選択します。
 - e. [次へ] をクリックします。
[コマンドライン] 画面が表示されます。
 - f. [アプリケーション] ボックスに、ipmitool.exe アプリケーションのパス (管理サーバーに BMU がインストールされている場所のパス) を入力します。
(例 : C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe)。2 つの LED 識別表示タスクの場合、アプリケーションパスは「C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe」です (デフォルトの BMU パスは、オペレーティング システムの言語によって異なる場合があります)。
4. 電源制御タスクの場合、[パラメータ] フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。

- `-I lanplus -H` と入力し、ドロップダウンメニューから [IPMI 機能を伴うリモート アクセス IP] を選択します。
- `-U <username> -P <password> -k <kgkey> <IPMI Task String>` と入力します。
- [<IPMI Task String>] を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - `power status` (電源ステータスの確認 タスクの場合)
 - `power on` (電源オン タスクの場合)
 - `power soft` (正常電源オフ タスクの場合)
 - `power off` (強制電源オフ タスクの場合)
 - `power cycle` (パワーサイクル タスクの場合)
 - `power reset` (電源リセット タスクの場合)
 - `identify on` (LED 識別表示オン タスクの場合)
 - `identify off` (LED 識別表示オフ タスクの場合)

例: `-I lanplus -H Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$ -U root -P<password> -k <kgkey> power status`

5. LED のオン/オフのタスクについては、次の形式で CLI パラメーターを入力します。
 - `-ip` と入力し、ドロップダウンメニューから [IPMI 機能を伴うリモート アクセス IP] を選択します。
 - 「`-u <username> -p <password> -k <kgkey> <IPMI task string>`」と入力します。
6. [作成] をクリックします。
新しい BMC タスクそれぞれに対して、これらの操作を実行します。

Microsoft SCOM 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 からの移行

SCOM 向け Dell Server Management Pack バージョン 6.0 までは、ライセンスを管理するために Dell Connections License Manager (DCLM) が必要でした。Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 以降では、DCLM は必要ありません。DCLM が削除されると、ライセンス数の強制はなくなります。デル・テクノロジーズから購入したライセンス数の上限に達した場合または超過した場合でも、SCOM 向けサーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング (ライセンス対象) 機能を使用して PowerEdge サーバーを引き続き管理できます。[ライセンスの使用状況の確認] セクションでは、適切なライセンス権利をデルから購入するために、管理対象のノード数を決定する手順を説明します。管理するノード数が購入したライセンス数を超えた場合には、追加ライセンスを購入する必要があります。

SCOM 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.0 用に購入したライセンスは、SCOM 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 6.1 以降にも適用されます。そのため、製品のアップグレード後も以前のライセンスは引き続き有効であり、以前購入したライセンスで規定された許容数までサーバーを管理できます。

トラップとトラップベースのユニット モニターをモニタリングするための SCOM の設定

このタスクについて

SCOM でトラップとトラップベースのユニット モニターをモニタリングするには、次の手順を実行します。

- #### 手順
1. SCOM コンソールを起動し、[管理] を選択します。
 2. [管理] ペインで、[Run As 設定] > [プロファイル] と移動します。
 3. 使用可能なプロファイルのリストから、[SNMP モニタリング アカウント] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
[はじめに] 画面が表示されます。
 4. [次へ] をクリックします。
[Run As プロファイルの一般プロパティの指定] 画面が表示されます。
 5. [次へ] をクリックします。
[Run As アカウント] 画面が表示されます。
 6. [追加] をクリックします。
 7. デバイスを検出するには、[Run As アカウント] ドロップダウンメニューからコミュニティ文字列を選択します。

- ① **メモ:** Run As アカウントのコミュニティー文字列を使用できない場合は、それを作成します。「[SNMP モニタリングのための Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。
- ① **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスをそれに関連する Run As アカウントに関連付けます。詳細については、「[複数 Run As アカウントの関連付け](#)」を参照してください。

8. [OK] をクリックします。
9. ウィザードの指示に従ってタスクを完了した後、[閉じる] をクリックします。

SNMP モニタリングのための Run As アカウントの作成

- 手順
1. SCOM コンソールを起動し、[管理] を選択します。
 2. [管理] ペインで、[Run As 設定] > [アカウント] の順にクリックします。
 3. [アカウント] を右クリックして、[Run As アカウントの作成] をクリックします。
[はじめに] 画面が表示されます。
 - ① **メモ:** ネットワーク モニタリングのための Run As アカウントの詳細については、[Microsoft のマニュアル](#)を参照してください。
 4. [次へ] をクリックします。
[一般プロパティ] 画面が表示されます。
 5. [Run As アカウントのタイプ] ドロップダウン メニューから、コミュニティー文字列を選択します。
 6. [表示名] ボックスに、コミュニティー文字列名を入力し、[次へ] をクリックします。
 7. [コミュニティー文字列] ボックスに、コミュニティー文字列を入力し、[次へ] をクリックします。
[配布セキュリティ] 画面が表示されます。
 8. [低セキュリティ - 管理下コンピューターのすべてに資格情報を自動配布する] オプションを選択して、[作成] をクリックします。
 9. ウィザードの指示に従ってタスクを完了した後、[閉じる] をクリックします。

複数の Run As アカウントの関連付け

- 手順
1. 「[トラップとトラップベースのユニット モニターのための運用マネージャーの設定](#)」のステップ 1~6 を実行します。
 2. [Run As アカウントの追加] 画面で、[選択したクラス、グループ、またはオブジェクト] オプションを選択します。
 3. [選択] > [クラス] をクリックします。
[クラス検索] 画面が表示されます。
 - ① **メモ:** また、コミュニティー文字列の Run As アカウントを、オブジェクトおよびグループに関連付けることもできます。詳細については、www.docs.microsoft.com にある SCOM に関するマイクロソフトのマニュアルを参照してください。
 4. [フィルター (オプション)] ボックスにクラス名を入力します。デバイスのタイプに基づいて、「**Dell EMC サーバー**」、「**Dell CMC/OME-M**」、または「**Dell EMC DRAC/MC**」を入力します。
 5. [検索] をクリックします。
 6. [使用可能なアイテム] で、追加するクラスを選択します。
 7. [OK] をクリックします。
 8. [Run As アカウントの追加] 画面で、[OK] をクリックします。
 9. 管理する各クラス タイプについて、ステップ 2~8 を繰り返します。
 10. [保存] をクリックします。
 11. ウィザードの指示に従ってタスクを完了した後、[閉じる] をクリックします。


Web Services Management (WS-Man) と SMASH デバイステンプレートのインストール

手順

1. www.microsoft.com/en-in/download/confirmation.aspx?id=29266 から、次の SMASH ライブラリー MPB ファイルを一時的な場所である WS-ManagementAndSMASHDeviceDiscoveryTemplate.msi にダウンロードします。
2. SMASH ライブラリー MPB ファイルをユーザーまたはデフォルトの場所にコピーするには、MSI ファイルを実行します。
3. SCOM コンソールを起動します。
4. 左ペインで、[管理] を選択します。
5. [管理パック] を選択して、作業中のペインで [管理パックをインポート] を選択します。
6. [追加] > [ディスクから追加] を選択します。
7. Microsoft SMASH ライブラリー MPB ファイルをダウンロードした場所の詳細を入力するか、場所を参照します。
8. MPB ファイルを選択して [開く] をクリックします。
[管理パックのインポート] 画面が表示され、[インポート リスト] にテンプレートが表示されます。
9. [インストール] をクリックします。

Run As アカウントの関連付けタスク - Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーションのモニタリング機能

[Run As アカウントの関連付け] タスクでは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性モニタリングに必要なすべての Dell サーバー オブジェクトに関連付けます。このタスクは、オブジェクトレベルの関連付けを実行するオプションとして使用できます。

 **警告:** [Run As アカウントの関連付け] タスクは、必要な場合にのみ実行してください。このタスクは、すべての Dell サーバ オブジェクトの設定に影響します。Dell サーバー Run As アカウント関連付けユニット モニターは、オブジェクトレベルの関連付けを自動的に実行します。